

川越市文化財保護年報

令和5年度

川 越 市 教 育 委 員 会
文 化 財 保 護 課

序

文化財とは、「我が国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられた貴重な財産」です。そして、それぞれの土地における歴史・伝統・文化などを理解するために欠くことができないものであると同時に、将来の文化を創り出す礎となる貴重なものであります。

川越市内には、長い歴史の中で生み出されてきた数多くの歴史遺産が所在しています。その内容は多岐にわたり、文化財保護法に規定された有形文化財・民俗文化財・記念物・伝統的建造物群及び埋蔵文化財も多く存在しています。

また、市内には歴史上・芸術上・学術上において価値の高い文化財が、その指定の有無にかかわらず存在しています。私たちの生活や世相に移り変わりがあっても、文化財の価値や重要さは不変です。これら貴重な文化財を後世に引き継いでいくために、川越市教育委員会では文化財の保存と活用を推進し、各種事業に取り組んでいます。

このたび刊行しました「川越市文化財保護年報」では、令和5年度に川越市教育委員会が文化財に関しておこなった事業について、写真や図を用いてわかりやすく紹介しています。

平成31年の文化財保護法の改正により、「文化財保存活用地域計画」の策定が法制化され、川越市では、令和5年12月に「川越市文化財保存活用地域計画」が文化庁から認定されました。また、令和6年度は国指定史跡「河越館跡」について、将来的な保存活用方針を定める「河越館跡保存活用計画」の策定を目指し、検討を進めています。

これら計画が、今後、当市文化財のあり方を示すとともに、市民みなさまの協力を得ながら、「地域」全体で文化財の価値や大切さを理解し、情報を共有し、文化財の未来を築き上げていきたいと考えております。

最後に、この年報が多くのおみなさまにご活用いただき、文化財保護意識の高揚の一助になれば幸いです。

令和6年12月

川越市教育委員会 教育総務部 文化財保護課

目 次

1 文化財保護課の目標と決算	1
1-1 目標	1
1-2 令和5年度決算及び前年度比較	1
2 教育委員会事務局組織と文化財保護課の主な事務	1
3 附属機関等	2
3-1 川越市文化財保護審議会	2
3-2 川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会	3
3-3 川越市河越館跡整備検討委員会	4
3-4 川越市山王塚古墳調査検討委員会	5
3-5 川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会	5
3-6 川越市文化財保存活用地域計画策定協議会	6
4 指定文化財	6
4-1 指定文化財の解除	6
5 河越館跡史跡整備事業	7
5-1 史跡の概要	7
5-2 保存整備の経過	7
5-3 史跡整備に係る主な事業経過	8
5-4 公有化の推移	8
5-5 河越館跡活用事業	9
（1）河越流鏑馬	9
（2）行為許可	9
（3）西文化会館展示コーナー	9
5-6 河越館跡史跡整備に伴う発掘調査	10
6 第58回全国史跡整備市町村協議会大会	11
6-1 全国史跡整備市町村協議会の概要	11
6-2 第58回全国史跡整備市町村協議会大会事業報告	11
7 川越氷川祭の山車行事伝承・活用等事業	15
7-1 川越氷川祭の山車行事	15
（1）概要	15
（2）行事開催日	15
7-2 保存修理事業	16

8 地域文化財総合活用推進事業	16
(1) 令和5年度補正予算 地域文化財総合活用推進事業	16
(2) 令和5年度地域文化財総合活用推進事業	17
9 指定文化財の管理	18
9-1 指定文化財保存事業（補助事業）	18
(1) 有形文化財・建造物の防災設備保守点検	18
(2) 史跡・天然記念物の保存	18
(3) 有形文化財の修理	18
(4) 民俗文化財の修理	18
9-2 文化財保存団体への助成と活動状況	19
(1) 無形民俗文化財の後継者育成・保存事業	19
(2) 文化財関係団体への助成 C19	
9-3 主な保存事業	19
(1) 補助事業（臨時）	19
①浅間神社古墳環境整備事業	19
②愛宕神社古墳環境整備事業	20
③県立川越女子高等学校明治記念館修理事業	20
(2) 補助事業（緊急）	20
④山下家住宅保存修理事業	20
⑤大沢家住宅保存修理事業	20
⑥田中家住宅観音扉修理事業	21
⑦田中家住宅防災設備修理事業	21
⑧仙波東照宮環境整備事業	21
10 文化財調査	22
10-1 古文書調査	22
10-2 山車調査	22
10-3 指定文化財悉皆調査	23
10-4 指定文化財原田家住宅経年劣化把握調査	23
10-5 指定文化財加藤家住宅実測調査	23
11 川越市文化財保存活用地域計画の策定	24
11-1 川越市文化財保存活用地域計画とは	24
11-2 文化庁協議について	24
11-3 文化財保存活用地域計画にともなう講座について	24
12 文化財の活用	25
12-1 資料の貸出	25
(1) 常設展等に貸与した資料	25
(2) 特別展・企画展等に貸与した資料	25
12-2 市指定文化財の活用状況	25

(1) 時の鐘	25
(2) 永島家住宅（旧武家屋敷）	26
(3) 川越城中ノ門堀跡	26
12－3 他部局所管の文化財施設の状況	27
(1) 川越城本丸御殿〔博物館〕	27
(2) 川越市蔵造り資料館〔博物館〕	27
(3) 旧川越織物市場、旧栄養食配給所〔都市景観課〕	28
(4) 川越市旧山崎家別邸、川越市旧山崎氏別邸庭園〔観光課〕	28
(5) 川越市産業観光館〔産業振興課〕	29
12－4 文化財の公開	29
(1) 常設展等に貸与した資料	29
(2) 博物館等での公開	29
(3) 川越まつり会館での山車展示	30
13 埋蔵文化財	30
13－1 埋蔵文化財調査一覧	30
(1) 発掘調査件数の推移	30
(2) 発掘調査一覧	31
(3) 試掘調査一覧	31
13－2 試掘調査	33
13－3 教育委員会の発掘調査	53
(1) 東下川原遺跡第5次調査	53
(2) 川越城跡第47次調査	54
(3) 川越城跡第48次調査	55
(4) 新田屋敷遺跡第15次調査	55
14 伝統的建造物群保存地区保存整備事業.....	56
14－1 伝統的建造物群保存地区制度	56
14－2 地区概要	56
14－3 地区の特性	57
14－4 令和5年度の主な事業の概要	57
14－5 現状変更行為件数	57
14－6 保存事業	58
(1) 保存事業補助金交付額	58
(2) 保存事業の内容	58
14－7 保存活動事業	59
14－8 伝統的建造物の特定状況	60
14－9 防火訓練支援	60
14－10 蔵造り資料館耐震化事業	61
15 普及・啓発事業	62
15－1 職員の派遣	62

15－2	刊行物	63
15－3	防火訓練	64
15－4	遺跡発表会 2023	65
15－5	山王塚古墳現地見学会	66
16	川越市の文化財数	67

1 文化財保護課の目標と決算

1-1 目標

川越市は、埼玉県を代表する文化財の街である。これは、各地域の人々が伝承されてきた歴史的建造物や伝統芸能などを大切に守り、伝えてきた結果であり、今後もこれらの貴重な文化財を将来の世代に引き継いでいかなければならない。

このため、つぎのような目標のもとで、文化財の保存と活用を推進していく。

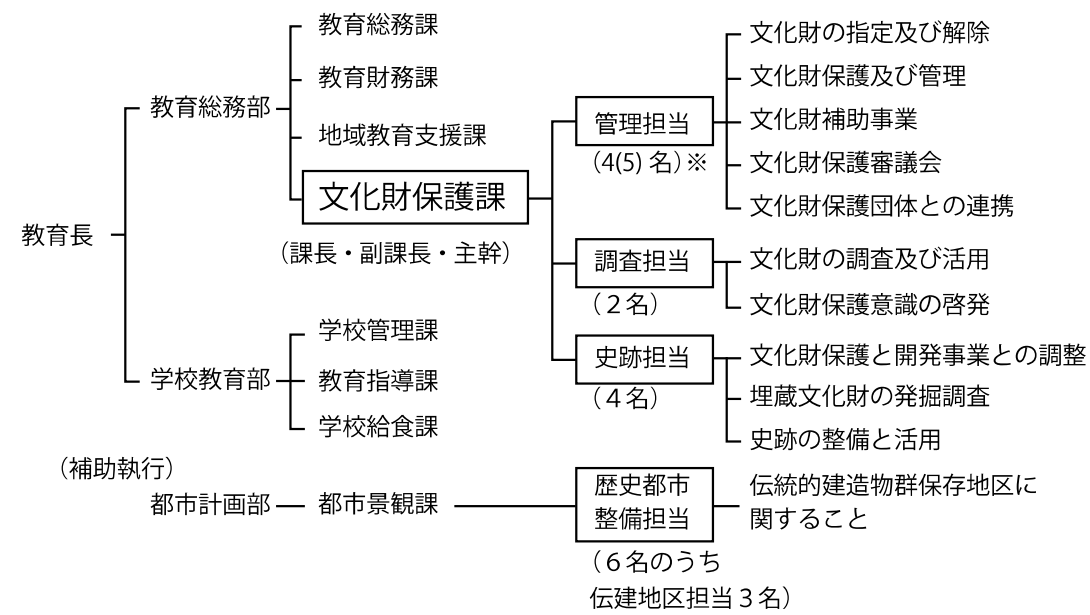
- ・ 文化財の諸調査を実施し、理解を深めるとともに、その保存と活用を図る。
- ・ 指定文化財の維持、管理の充実とその活用を図る。
- ・ 河越館跡の整備及び活用の推進を図る。
- ・ 文化財保護意識の啓発に努める。
- ・ 文化財保護団体等との連携を図り、保護活動の推進に努める。

1-2 令和5年度決算及び前年度比較

区 分	令和4年度	令和5年度	比較増減額	増減率
一般会計	121,631,298,226	127,096,650,755	5,465,352,529	104.5%
教育費	13,482,745,850	13,291,407,614	△ 191,338,236	98.6%
文化財保護費	59,424,880	115,494,950	56,070,070	194.4%
事業別	文化財保護課一般事務	258,180		
	文化財の維持・管理	11,704,073	△ 3,672,265	△ 68.6%
	文化財の活用	34,555,687	99,871,827	128.9%
	河越館跡整備	13,165,120	42,142,328	420.1%
	文化財の保存修理	7,364,000		

4月1日時点

2 教育委員会事務局組織と文化財保護課の主な事務



※4月～10月まで地域教育支援課と兼務で1名増員

3 附属機関等

文化財保護課では、文化財保護審議会をはじめ、個々の文化財について検討する委員会を3つ設置している。また、都市景観課では、伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置している。

3-1 川越市文化財保護審議会

川越市文化財保護審議会は、川越市文化財保護条例第4条に基づき設置されており、令和5年度は11名の委員を委嘱している。委員の役割分担は、考古・歴史・民俗・建築・植物・文学などにわかれており、川越市の指定文化財に関する調査と、指定文化財の維持・管理についての助言等を行う。

委員名簿（任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日）

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
会 長	山 野 清二郎	委 員	佐 藤 啓 子	委 員	牧 野 彰 吾
副会長	松 尾 鉄 城	〃	羽 生 修 二	〃	水 上 嘉代子
委 員	大久根 茂	〃	馬 場 弘	〃	水 口 由紀子
〃	小久保 徹	〃	林 宏 一		

開催状況

第1回	期日	令和5年7月28日（金）
	場所	教育委員会室
	出席者	10名
	主な議題	- 蔵造り資料館の現状変更について - 市指定文化財加藤家住宅の市指定解除について - 山車の指定について 等
第2回	期日	令和6年2月2日（金）
	場所	教育委員会室
	出席者	10名
	主な議題	- 河越館跡整備事業の進捗状況について - 蔵造り資料館の工事の進捗状況について - 蔵造り資料館の現地視察 等

3-2 川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会

川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会は、川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会条例に基づき、川越氷川祭の山車行事に係る山車等の修理等に関して検討を行うため設置している。令和5年度は、委員として民俗、建築、人形、繊維・染織を専門とする学識経験者と保護団体代表の5名を委嘱している。

委員名簿（任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日）

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	大久根 茂	委 員	水 上 嘉代子	委 員	馬 場 弘
副委員長	是 澤 博 昭	〃	小 澤 雄 樹		

開催状況

第1回	期日	令和5年8月2日（水）
	場所	川越まつり会館 多目的室
	出席者	3名
	主な議題	・ 祭礼後に寄せられた破損・不具合の報告続報 ・ 令和6年度以降の山車修理事業について
第2回	期日	令和5年11月6日（月）
	場所	オーク2 H2ビル1階 会議室
	出席者	5名
	主な議題	・ 祭礼後に寄せられた破損・不具合の報告 ・ 祭礼後に寄せられた破損・不具合の報告続報 ・ 令和6年度の山車修理事業について ・ 令和8年度以降の山車修理事業について



3-3 川越市河越館跡整備検討委員会

川越市河越館跡整備検討委員会は、川越市河越館跡整備検討委員会条例に基づき河越館跡の整備に関して検討を行うため設置されている。令和5年度は中世史、考古学、造園学、景観工学等を専門とする9名の委員を委嘱している。

委員名簿（任期 令和4年11月1日～令和6年10月31日）

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	浅 野 晴 樹	委 員	落 合 義 明	委 員	齋 藤 慎 一
副委員長	田 中 信	〃	小 野 正 敏	〃	鈴 木 誠
委 員	内 田 祥 士	〃	小久保 徹	〃	橋 口 定 志

開催状況

第1回	期日	令和5年5月11日（木）
	場所	川越市役所本庁舎4階 4A会議室
	出席者	7名
	主な議題	・委員長・副委員長選出 ・既設道路拡幅に伴う新田屋敷遺跡発掘調査について ・河越館跡整備スケジュールについて ・史跡保存活用計画素案の修正について
第2回	期日	令和5年12月20日（水）
	場所	教育委員会室
	出席者	5名
	主な議題	・既設道路拡幅に伴う新田屋敷遺跡第15次発掘調査の現状について ・史跡保存活用計画案について ・史跡整備及び史跡保存活用計画策定のスケジュールについて
第3回	期日	令和6年3月25日（月）
	場所	オーク2 H2ビル1階 会議室
	出席者	7名
	主な議題	・既設道路拡幅に伴う新田屋敷遺跡第15次発掘調査の現状について ・文化庁整備部門視察報告 ・史跡保存活用計画第1～6章について ・史跡整備及び史跡保存活用計画策定のスケジュールについて

3-4 川越市山王塚古墳調査検討委員会

川越市山王塚古墳調査検討委員会は、川越市山王塚古墳調査検討委員会条例に基づき、山王塚古墳の調査及び研究に関して考古学・古代史などを専門とする学識経験者により検討するため設置された。令和4年度は考古学、古代史を専門とする5名の委員によって検討を行った。

委員名簿（任期 令和4年11月1日～令和5年3月31日）

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	広 瀬 和 雄	委 員	池 上 悟	委 員	小久保 徹
副委員長	須 田 勉	〃	宮 瀧 交 二	〃	

開催状況

令和5年度は検討事項が無かったため、開催しなかった。

3-5 川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会

川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会は、川越市伝統的建造物群保存地区保存条例第10条に基づき設置されており、市長及び教育委員会の諮問に応じ、保存地区の保存等に関する重要事項について調査及び審議をし、並びにこれらの事項について市長及び教育委員会に建議することを目的としている。令和5年度は12名の委員を委嘱している。

委員名簿（任期 令和4年8月30日～令和6年8月29日）

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
会 長	福 川 裕 一	委 員	佐 藤 由美子	委 員	石 村 晃 龍
副会長	隈 倉 雄二郎	〃	中 山 昌 克	〃	山 川 直 美
委 員	溝 尾 良 隆	〃	森 内 優 子	〃	原 知 之
〃	田 口 陽 子	〃	長 島 貴 子	〃	竹 澤 穰 治

開催状況

第1回	期日	令和5年11月17日（金）
	場所	教育委員会室
	出席者	9名
	主な議題	- 令和4年度伝建地区保存整備事務について - 令和4年度国庫補助事業について - 令和5年度国庫補助事業について - 川越市蔵造り資料館耐震化事業について

3－6 川越市文化財保存活用地域計画策定協議会

川越市文化財保存活用地域計画策定協議会は、川越市文化財保存活用地域計画策定協議会運営要綱に基づき、文化財保護法第百八十三条の九第一項で規定されている文化財保存活用地域計画作成のため、その意見を聴取する場として設けられている。令和3年度から協議会を新たに立ち上げた。委員として文化財所有者、学識経験者、観光団体の代表者、埼玉県、川越市の合計12名に依頼している。

委員名簿（任期 令和3年6月30日～令和6年6月29日）

職 名	氏 名	職 名	氏 名
座 長	落 合 義 明	委 員	根 岸 督 好
副座長	栗 原 健 一	〃	内 田 幸 彦
委 員	原 知 之	〃	富 田 広 之
〃	中 村 大 介	〃	田 中 勝 宏
〃	大久根 茂	〃	粕 谷 勝
〃	守 山 登	〃	齊 木 隆

開催状況

第1回	期日	令和5年7月24日（月）
	場所	北公民館 会議室1・2
	出席者	10名
	主な議題	・ 川越市文化財シンポジウムの結果報告について ・ 文化庁との協議結果について ・ 川越市文化財保存活用地域計画について



川越市文化財保存活用地域計画策定協議会（令和5年7月24日）

4 指定文化財

4－1 指定文化財の解除

市指定文化財加藤家住宅（建造物）は火災による滅失により、令和5年7月28日の文化財保護審議会での指定解除の答申が出され、同年8月23日付けで指定解除となった。

5 河越館跡史跡整備事業

5-1 史跡の概要

- | | |
|--------------|---|
| 1. 種 別 | 史跡 |
| 2. 名 称 | 河越館跡 |
| 3. 所 在 地 | 埼玉県川越市大字上戸 192 - 1 他 |
| 4. 指定等種別 | 昭和 59 年 12 月 6 日史跡指定 |
| ・年月日 | 文部省告示第 142 号 |
| 5. 指定理由 | |
| (1) 指定基準 | 特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準史跡 2 (城跡) による。 |
| (2) 説明 | 河越館跡は川越市の北西部、入間川西岸に位置し、その規模は現存土塁の外周に検出された堀跡を含めて約 5 万㎡である。
河越館跡は、鎌倉時代から南北朝時代にかけて有力な関東武士であった河越氏の城館の遺跡であり、中世武家政権を支えた在地領主の実態を究明する上においてもきわめて重要な遺跡である。 |
| 6. 指 定 面 積 | 48,509.18㎡ |
| 7. 管理団体又は所有者 | |
| (1) 名称 | 川越市 |
| (2) 指定年月日 | 平成元年 7 月 31 日 |

河越氏は、桓武平氏・秩父氏の流れを汲み、平安末期から南北朝期にかけて繁栄し、武蔵国でも有数の勢力を誇った武士である。特に河越重頼は娘が源義経の正妻になったことで知られる。後に、重頼とその子重房は義経の縁者として誅される悲劇もあったが、その曾孫経重は高野山に町石を寄進し、新日吉山王宮に銅鐘を寄進するなどの事蹟を残し、以後、鎌倉幕府の有力御家人として活躍している。

南北朝の動乱後も、鎌倉府の下で勢力を保っていた河越氏であるが、応永元年（1368）に平一揆の中心となり、河越館に立て籠もって鎌倉府に反旗を翻した。しかし敗北し、以後歴史の表舞台から姿を消す。この河越館跡はその河越氏に由来するものとして興亡の歴史を秘めた史跡である。

5-2 保存整備の経過

昭和 7 年度	河越館跡県指定史跡となる
昭和 46 年～ 59 年度	範囲確認調査（第 1 次～ 9 次）
昭和 59 年度	河越館跡国指定史跡となる
昭和 61 年度	史跡河越館跡保存管理計画策定
昭和 62 年度	史跡河越館跡整備計画基礎調査報告書作成
平成元年度	川越市、史跡河越館跡の管理団体として指定を受ける
平成 5 年度	常楽寺離れ建替の現状変更に伴う確認調査
平成 7 年度～令和 3 年度	河越館跡史跡整備に伴う発掘調査（第 1 次～ 18 次）

平成 13 年度	史跡河越館跡整備基本計画策定
平成 14 年度	常楽寺本堂建替の現状変更に伴う確認調査
平成 17 年度	国史跡河越館跡整備資料報告書作成
平成 18 年度	河越館跡史跡整備基本設計書策定
平成 19 年度	河越館跡（第 1 期）史跡整備実施設計書策定
平成 19 年度～ 21 年度	第 1 期史跡整備工事
平成 21 年度	河越館跡史跡公園開園（13,266.00㎡）
平成 28 年度	河越館跡用地測量業務委託
平成 30 年度	河越館跡物件調査業務委託
令和元年度	公有化予定地の公有化完了 河越館跡用地測量業務委託
令和 2 年度・ 3 年度	史跡外に新設道路・ガイダンス施設用地取得
令和 5 年度	河越館跡外周整備工事に伴う新田屋敷遺跡第 15 次調査 河越館跡外周整備工事に伴う基礎構造物撤去工事業務委託 河越館跡外周整備工事に伴う土質調査業務委託 河越館跡外周整備工事に伴う道路詳細設計業務委託

5－3 史跡整備に係る主な事業経過

令和 5 年 5 月 11 日（木）に「令和 5 年度第 1 回川越市河越館跡整備検討委員会」、令和 5 年 12 月 20 日（水）に同 2 回、令和 6 年 3 月 25 日（月）に同 3 回を開催した。

河越館跡外周整備工事に伴う事業として、下記の事業を実施した。

- ・新田屋敷遺跡第 15 次調査
令和 5 年 7 月 11 日（木）～令和 6 年 3 月 27 日（水）
- ・河越館跡外周整備工事に伴う基礎構造物撤去工事業務委託
令和 5 年 11 月 7 日（火）～令和 6 年 3 月 29 日（金）
- ・河越館跡外周整備工事に伴う土質調査業務委託
令和 5 年 8 月 1 日（火）～令和 5 年 10 月 31 日（火）
- ・河越館跡外周整備工事に伴う道路詳細設計業務委託
令和 5 年 8 月 8 日（火）～令和 6 年 1 月 26 日（金）

5－4 公有化の推移

年度	取得面積 (㎡)	取得面積合計 (㎡)	公有化率	年度	取得面積 (㎡)	取得面積合計 (㎡)	公有化率
昭和 45 年度	5,865	5,865	12%	平成 9 年度	1,763	22,169	45%
昭和 46 年度	6,741	12,606	26%	平成 10 年度	10,286	32,455	67%
昭和 47 年度	809	13,415	27%	平成 11 年度	1,638	34,093	70%
平成元年度	253	13,668	28%	平成 12 年度	181	34,274	70%
平成 2 年度	487	14,155	29%	平成 13 年度	1,999	36,273	74%
平成 3 年度	512	14,667	30%	平成 14 年度	295	36,568	75%
平成 4 年度	796	15,463	32%	平成 15 年度	204	36,772	76%
平成 5 年度	1,196	16,659	34%	平成 16 年度	395	37,167	77%
平成 6 年度	1,079	17,738	36%	平成 17 年度	232	37,399	77%
平成 7 年度	1,275	19,013	39%	令和元年度	2,619	40,018	82%
平成 8 年度	1,393	20,406	42%				

※公有化率は、公有化開始以降の推移がわかるように国指定地面積（48,509.18㎡）に対する公有地面積で示す。

なお、公有化予定面積（常楽寺を除く）の公有化率は 100%である。

5－5 河越館跡活用事業

(1) 河越流鏑馬

河越館跡外周整備工事に伴い、令和5年度は中止となった。

(2) 行為許可

令和5年度の許可行為については、下記のとおりである。

	行為日	行為目的
1	3月16日	上戸育成会の通学班新旧顔合わせ会

(3) 西文化会館展示コーナー

平成21年11月の河越館跡史跡公園開園に合わせ、これまでの発掘調査の成果を公開するための施設として、隣接する川越市立上戸小学校の校舎内に資料展示室を設けたが、令和2年度をもって閉室となった。そのため、令和3年4月16日より、西文化会館の図書コーナーの一角を借用し、発掘調査の成果等を展示している。



西文化会館展示状況



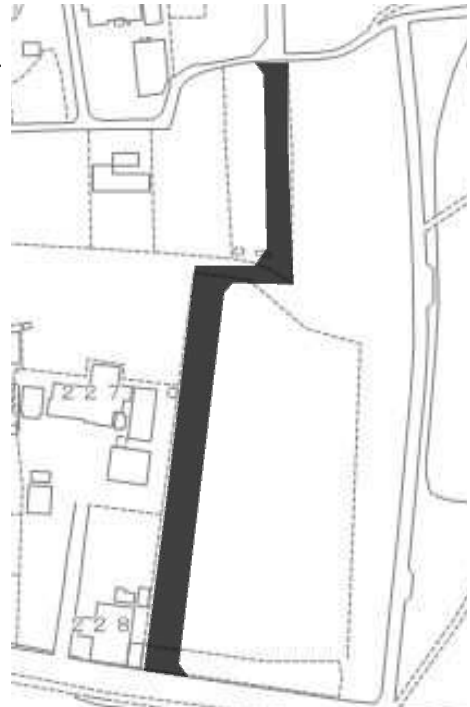
ケース内展示状況

5－6 河越館跡史跡整備に伴う発掘調査

遺 跡 名 新田屋敷遺跡第 15 次調査
調査地番 川越市上戸 212-2、212-3、216-4、217-3、
225-2、226-2、228-8
調査期間 令和 5 年 7 月 11 日～令和 6 年 3 月 27 日
調査面積 1,826㎡
調査原因 道路建設
通知番号 川教文発第 281 号
令和 5 年 6 月 27 日

新田屋敷遺跡は、入間川と小畔川に挟まれた標高の低い台地上に立地し、国指定史跡河越館跡、日枝神社遺跡、天王遺跡、そして龍光遺跡という古代から中世にかけての遺構が多数調査されている遺跡に囲まれている。また、新田屋敷でも周辺の遺跡と同様、古代から中世にかけての遺構が過去の調査で多数見つかっており、上戸という地で古代から中世にかけて人々が活発に活動していたことを示している。

今回の調査では主に奈良時代に属すると考えられる竪穴建物 10 棟、奈良時代から中世にかけての溝・堀 31 条、井戸 9 基、土坑 70 基程度、ピット 300 基以上が検出された。古代の遺構は主に 8 世紀代に属するものと思われ、土師器や須恵器、円面硯などが出土した。中世の遺構は 13 世紀～ 16 世紀に属すると思われ、かわらけや陶磁器、石臼、茶臼、板碑などが出土した。



北側調査区（北から）



井戸調査状況（東から）



竪穴建物完掘（南西から）

6 第 58 回全国史跡整備市町村協議会大会

6-1 全国史跡整備市町村協議会の概要

当協議会は全国の史跡・名勝、天然記念物及び重要文化的景観の所在する市町村が加盟し、協調して、史跡等の整備に関する調査研究及びその具体的方策の推進を図り、もって文化財の保存と活用に資することを目的としている。

活動は、史跡保全議員連盟や文化庁との密接な連携のもと行われ、全国史跡整備市町村協議会関係予算（「史跡等公有化助成」、「史跡等整備活用事業」、「埋蔵文化財発掘調査等」の3本柱）の確保に向けた陳情活動等を積極的に行っている。

6-2 第 58 回全国史跡整備市町村協議会大会事業報告

期日	会議名等	詳細
令和4年10月26日	第1回実行委員会	リモートによる開催 内容：規約案、役員選出案、担当者会議設置、旅行業者の選定について協議。
令和5年1月20日	第1回担当者会議	場所：川越市役所 内容：大会概要、エクスカッション案、動員について協議。
令和5年4月21日	第2回実行委員会	書面による開催 内容：実行委員会の体制、事業計画案及び予算案、エクスカッション案、VIPエクスカッション案について協議。
令和5年4月28日	参加意向調査	加盟市区町村及び都道府県に参加意向調査を実施。
令和5年5月24日	全史協事務局現地視察対応	場所：川越市、富士見市 内容：大会運営等の協議、会場視察、VIPエクスカッション現地視察。
令和5年7月5日	第1回全史協役員会	場所：都市センターホテル（東京） 内容：第58回大会開催地挨拶。
令和5年7月21日	大会開催案内通知	内容：メールを一斉送信。受付等業務委託業者からも参加申込に関するURLをメールにて送信。
	打合せ懇談会案内通知	内容：全史協役員（会長、副会長、監事）と来賓に文書で通知。史跡保全議員連盟、文化庁には全史協事務局（三島市）から文書で通知。
令和5年8月31日	担当部課長会議	場所：都市センターホテル（東京） 内容：第58回大会の議題について協議。
令和5年8月1日	第3回実行委員会	場所：川越市役所 内容：事前意向調査による出席状況、スケジュール、エクスカッションについて報告。総会について協議。
令和5年9月27日	第2回担当者会議	場所：川越市役所 内容：大会執務内容の確認。

期日	会議名等	詳細
令和5年10月3日	VIP エクスカーション (1日目)	場所：山王塚古墳、水子貝塚、 川越城本丸御殿 来賓：議連からは、赤池誠章参議院議員が 参加。
	打合せ懇談会	※①参照
令和5年10月4日	VIP エクスカーション (2日目)	場所：河越館跡、 川越市川越伝統的建造物群保存地区 来賓：議連からは、細野豪志衆議院議員が 参加。
	第2回全史協役員会	場所：ウェスタ川越（川越市） 内容：総会提出議案の協議。
	昼食会	場所：ウェスタ川越（川越市）
	第58回大会	※②参照
	情報交換会	※③参照
令和5年10月5日	エクスカーション（1日目）	※④参照
令和5年10月6日	エクスカーション（2日目）	
	解散式	ラ・ボア・ラクテ（川越市）

①打合せ懇談会

日時：令和5年10月3日（火） 18:00～20:00

場所：氷川会館 2階朝陽

参加者 川合 善明 川越市長
豊岡 武士 三島市長
細野 豪志 衆議院議員 史跡保全議員連盟世話人
赤池 誠章 参議院議員 史跡保全議員連盟世話人
山下 信一郎 文化庁 文化財鑑査官
大野 元裕 埼玉県知事
新保 正俊 川越市教育委員会教育長
世古口 哲也 明和町長
山添 藤真 与謝野町長
中村 正人 うるま市長
藤井 壽夫 函館市教育長
井澤 邦夫 国分寺市長
榎本 義法 富岡市長
深谷 晃祐 多賀城市長
田中 禎彦 文化庁文化財第二課課長
国谷 勝伸 文化庁文化財第二課副課長
小塚 英章 三島市教育長

②第58回大会（開会式、総会、閉会式、講演会）

・開会式

日時：令和5年10月4日（水） 14:00～14:40

場所：ウェスタ川越（開会式、総会、閉会式、講演会）

開会のことば 全国史跡整備市町村協議会 副会長 明和町長 世古口 哲哉

会長あいさつ 豊岡 武士 三島市長 全国史跡整備市町村協議会 会長
歓迎のことば 川合 善明 川越市長 開催地市長
祝 辞 中曽根 弘文 参議院議員 史跡保全議員連盟代表世話人
細野 豪志 衆議院議員 史跡保全議員連盟世話人
赤池 誠章 参議院議員 史跡保全議員連盟世話人
山下 信一郎 文化庁 文化財鑑査官
埼玉県知事 大野 元裕

来賓紹介
表彰

・総会

日時：令和5年10月4日（水） 14:40～15:30

議事：議案第1号 令和4年度事業報告及び決算報告について

議案第2号 令和5年度補正予算（案）について

議案第3号 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について

議案第4号 役員の選任について

議案第5号 次期（第59回）大会開催地について

次期（第59回）大会開催地代表あいさつ 多賀城市長 深谷 晃祐

令和6年度史跡関係予算（案）について 文化庁 文化財第二課課長 田中 禎彦

・閉会式

日時：令和5年10月4日（水） 15:30～15:40

大会決議 全国史跡整備市町村協議会 理事 小田原市長 守屋 輝彦

閉会のことば 全国史跡整備市町村協議会 副会長 うるま市長 中村 正人

・講演会

日時：令和5年10月4日（水） 16:00～17:00

講師：齋藤 慎一 氏（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館分館
江戸東京たてもの園 学芸員（専門調査員）

演題：「平城と山城―城館の地域性―」

③情報交換会

アトラクション 「川越の木遣り」川越鳶組合木遣り会

開会のことば 全国史跡整備市町村協議会 理事 中能登町長 宮下 為幸

歓迎のことば 開催地 川越市長 川合 善明

会長あいさつ 全国史跡整備市町村協議会 会長 三島市長 豊岡 武士

アトラクション 「川越祭りばやし」今福囃子連

次期（第59回）大会開催地代表あいさつ 多賀城市長 深谷 晃祐

中 締 め 全国史跡整備市町村協議会 理事 南城市長 古謝 景春

④エクスカーション

第58回全国史跡整備市町村協議会大会 エクスカーション日程

月日	Aコース①(古墳)			Aコース②(古墳)			Bコース(貝塚)			Cコース(中世城館跡)			Dコース(秩父)							
10月5日 (木)	ウエスタ川越	出発	8:10	ウエスタ川越	出発	8:20	ウエスタ川越	出発	8:20	ウエスタ川越	出発	8:15	ウエスタ川越	出発	8:10					
	移動時間50分			移動時間50分			移動時間40分			移動時間45分			移動時間80分							
	吉見百穴・ 吉見町埋蔵文化財 センター〔吉見町〕	到着	9:00	東松山市埋蔵 文化財センター 〔東松山市〕	到着	9:10	水子貝塚 〔富士見市〕	到着	9:00	杉山城跡 〔嵐山町〕	到着	9:00	【休憩】 長瀬駅周辺	到着	9:30					
		視察	30分		視察	20分		視察	55分		視察	60分		—	20分					
		出発	9:30		出発	9:30		出発	9:55		出発	10:00		出発	9:50					
	移動時間15分			移動時間5分			移動時間70分			移動時間20分			移動時間10分〔徒歩〕							
	東松山市埋蔵 文化財センター 〔東松山市〕	到着	9:45	将軍塚古墳 〔東松山市〕	到着	9:35	真福寺貝塚 〔さいたま市岩槻区〕	到着	11:05	下里・青山板碑製作 遺跡〔割谷地区〕 〔小川町〕	到着	10:20	長瀬 〔長瀬町〕	到着	10:00					
		視察	20分		視察	25分		視察	40分		視察	50分		視察	30分					
		出発	10:05		出発	10:00		出発	11:45		出発	11:10		出発	10:30					
	移動時間5分			移動時間15分			移動時間15分			移動時間20分			移動時間15分〔徒歩〕							
	将軍塚古墳 〔東松山市〕	到着	10:10	吉見百穴・ 吉見町埋蔵文化財 センター〔吉見町〕	到着	10:15	【昼食】 ほてい家 〔さいたま市岩槻区〕	到着	12:00	菅谷館跡・ 埼玉県立嵐山史跡 の博物館〔嵐山町〕	到着	11:30	埼玉県立 自然の博物館 〔長瀬町〕	到着	10:45					
		視察	25分		視察	30分		—	40分		視察	40分		視察	60分					
		出発	10:35		出発	10:45		出発	12:40		出発	12:10		出発	11:45					
	移動時間45分			移動時間45分			移動時間30分			移動時間10分〔徒歩〕			移動時間20分							
	八幡山古墳 〔行田市〕	到着	11:20	【昼食】 ふじみ鮎 〔行田市〕	到着	11:30	黒浜貝塚 〔速田市〕	到着	13:10	【昼食】 国立女性教育会館 〔嵐山町〕	到着	12:20	【昼食】 ヘリテイジ美の山 〔皆野町〕	到着	12:05					
		視察	30分		—	40分		視察	60分		—	40分		—	40分					
		出発	11:50		出発	12:10		出発	14:10		出発	13:00		出発	12:45					
	移動時間10分			移動時間10分			移動時間50分			移動時間20分			移動時間15分							
	埼玉古墳群 〔行田市〕	到着	12:00	八幡山古墳 〔行田市〕	到着	12:20	神明貝塚 〔春日部市〕	到着	15:00	小倉城跡 〔ときがわ町〕	到着	13:20	美の山公園 〔秩父市・皆野町〕	到着	13:00					
		視察	60分		視察	30分		視察	40分		視察	60分		視察	30分					
		出発	13:00		出発	12:50		出発	15:40		出発	14:20		出発	13:30					
	移動時間10分			移動時間10分			移動時間15分			移動時間40分			移動時間50分							
	【昼食】 ふじみ鮎 〔行田市〕	到着	13:10	埼玉古墳群 〔行田市〕	到着	13:00	【休憩】 道の駅アグリ パークゆめすぎと （又は道の駅ごか）	到着	15:55	松山城跡・ 吉見町埋蔵文化財 センター〔吉見町〕	到着	15:00	秩父札所32番 般若山法性寺 〔小鹿野町〕	到着	14:20					
		—	40分		視察	60分		—	15分		視察	70分		視察	40分					
		出発	13:50		出発	14:00		出発	16:10		出発	16:10		出発	15:00					
移動時間50分			移動時間50分			移動時間80分			移動時間60分			移動時間20分								
旧渋沢邸「中の家」 〔深谷市〕	到着	14:40	中宿古代倉庫群跡 〔深谷市〕	到着	14:50							おがの化石館・ ようばけ 〔小鹿野町〕	到着	15:20						
	視察	40分		視察	30分								視察	30分						
	出発	15:20		出発	15:20								出発	15:50						
移動時間10分			移動時間10分																	
中宿古代倉庫群跡 〔深谷市〕	到着	15:30	旧渋沢邸「中の家」 〔深谷市〕	到着	15:30															
	視察	30分		視察	40分															
	出発	16:00		出発	16:10															
移動時間80分			移動時間80分																	
ウエスタ川越周辺	到着	17:20	ウエスタ川越周辺	到着	17:30							ウエスタ川越周辺	到着	17:30	ウエスタ川越周辺	到着	17:10	ウエスタ川越周辺	到着	17:20

月 日	Fコース①(川越市内)			Fコース②(川越市内)			Fコース③(川越市内)			Cコース(中世城館跡)					
10月6日 (金)	ウエスタ川越	出発	8:15	ウエスタ川越	出発	8:20	ウエスタ川越	出発	8:30	ウエスタ川越	出発	8:25			
	移動時間20分			移動時間20分			移動時間20分			移動時間65分					
	山王塚古墳 [川越市]	到着	8:35	河越館跡 [川越市]	到着	8:40	山王塚古墳 [川越市]	到着	8:50	鉢形城跡 [寄居町]	到着	9:30			
		視察	30分		視察	30分		視察	30分		視察	70分			
		出発	9:05		出発	9:10		出発	9:20		出発	10:40			
	移動時間25分			移動時間30分			移動時間25分			移動時間65分					
	河越館跡 [川越市]	到着	9:30	山王塚古墳 [川越市]	到着	9:40	河越館跡 [川越市]	到着	9:45						
		視察	30分		視察	30分		視察	30分						
		出発	10:00		出発	10:10		出発	10:15						
	移動時間15分			移動時間20分			移動時間15分								
	川越市川越伝統的 建造物群保存地区	到着	10:15	川越市川越伝統的 建造物群保存地区	到着	10:30	川越市川越伝統的 建造物群保存地区	到着	10:30						
		視察	60分		視察	60分		視察	60分						
		出発	11:15		出発	11:30		出発	11:30						
移動時間15分			移動時間15分			移動時間15分									
ラ・ボア・ラクテ	到着	11:30	ラ・ボア・ラクテ	到着	11:45	ラ・ボア・ラクテ	到着	11:45		ラ・ボア・ラクテ	到着	11:45			
解散式 (昼食)	開始	12:00	解散式 (昼食)	開始	12:00	解散式 (昼食)	開始	12:00		解散式 (昼食)	開始	12:00			
	—	60分		—	60分		—	60分			—	60分			
	終了	13:00		終了	13:00		終了	13:00			終了	13:00			

7 川越氷川祭の山車行事伝承・活用等事業

7-1 川越氷川祭の山車行事

(1) 概要

川越氷川祭の山車行事は、川越氷川神社の例大祭である川越氷川祭に付随して行われる行事である。川越氷川祭は、江戸時代初期に川越藩主松平信綱が、川越氷川神社に祭礼用具を寄進し祭礼の執行を奨励したことがはじまりとされている。

川越氷川神社の氏子のうち旧十ヶ町と呼ばれる各町では、山車などの練り物を出して神輿の神幸に供奉してきた。また、自町内や他の町にも山車を曳き、他町の山車と出あう際には、山車を向けて囃子をたたきあう「曳っかわせ」が行われるなど、祭事に伴う多彩な民俗も受け継いできた。現在では行事の規模、範囲が拡大し、市民まつりとしての側面も担っている。

現在ある山車の形状は、上下可動式の二重鉦で上に人形をいただく江戸型山車であり、天下祭の影響を強く受けている。また、囃子台を自在に向けられるように、せいご台より上が水平に回転する仕組みを持つ山車も多い。

10 台の山車が昭和 43 年に「川越氷川祭山車」として県の有形民俗文化財に指定され、平成 17 年には行事自体が「川越氷川祭の山車行事」として国の重要無形民俗文化財に指定された。そして平成 28 年には「川越氷川祭の山車行事」を含む全国 33 件の祭礼行事が一括で「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録された。

行事を継続していくためには様々な問題を抱えているが、中でも近年は道路の舗装化や行事の毎年開催化の影響により、山車の劣化損傷が避けられない状況にある。人形や装飾品についても経年劣化や急な悪天候を原因とした汚損などが起こっている。

このことから、国指定に係る 13 町が保有する 14 台の山車と、県指定に係る 1 町 1 台の山車について、損傷状況を調査した上で、順次保存修理事業を行っている。

(2) 行事開催日

令和 5 年度は 10 月 15 日午前に氷川神社神幸祭が執行される予定であったが、雨天のため式典のみ実施し、神輿渡御は行われなかった。また、これに伴い山車の供奉も中止となった。

なお、川越まつりが実施された 10 月 14 日・15 日、雨天時以外には山車を曳行し、曳っかわせ等が行われた。



令和 5 年度の山車行事

7-2 保存修理事業

令和5年度は事業なし。

8 地域文化財総合活用推進事業（地域活性化のための伝統行事等振興事業／地域伝統行事・民俗芸能等継承振興事業）

本事業は、地域のコミュニティを形成するうえで極めて重要とみなされる伝統行事・伝統芸能等を確実に次世代に継承するため、用具の修理・後継者養成など、各地域の実情に応じた取組に対して補助金を交付するものである。

また、地域の伝統行事等の基盤整備を支援するとともに、収益機能の強化や官民連携の取組を促すことにより、地域活性化の推進及び経済波及効果の拡大を図ることを目的としている。

令和5年度に実施された令和4年度補正予算事業、並びに令和5年度事業〈二次募集〉に対し、本市から各事業1団体ずつが申請し、交付決定を受けて事業を実施した。

（1）令和5年度補正予算 地域文化財総合活用推進事業（地域活性化のための伝統行事等振興事業）

当事業に対し鯨井自治会より申請があり、文化庁より補助金額 3,253,000 円の交付決定を受けた（総事業費 3,828,000 円）。事業概要は以下のとおり。

事業名称 川越市鯨井地区文化遺産継承事業

事業期間 令和5年5月1日～令和6年3月29日

事業内容 用具等整備（修理）

鯨井地区の行事である「天王様」で用いられる獅子頭・七つ灯籠・櫓について、いずれも経年劣化による損傷が激しいため、修理、復元新調を行った。



獅子頭



七つ提灯・櫓

(2) 令和5年度地域文化財総合活用推進事業（地域伝統行事・民俗芸能等継承振興事業）
〈二次募集〉

当事業に対し仙波会より申請があり、文化庁より補助金額 8,500,000 円の交付決定を受けた（総事業費 11,110,000 円）。事業概要は以下のとおり。

事業名称	川越市仙波地区文化遺産継承事業
事業期間	令和5年9月1日～令和6年3月29日
事業内容	用具等整備（修理） 川越まつり、及び仙波氷川神社例大祭で使われる、仙波会所有の「仙波二郎安家の山車」について、山車の下部（轆・せいご台）が経年劣化による損傷が激しいため修理、復元新調を行った。



製作中の轆

9 指定文化財の管理

9-1 指定文化財保存事業（補助事業）

令和5年度に補助金を交付した保存事業は以下のとおりである。

（1）有形文化財・建造物の防災設備保守点検（川越市補助金総交付額 443,000 円）

重要文化財	喜多院客殿ほか	防災設備保守点検	経常
〃	東照宮本殿ほか	防災設備保守点検	経常
〃	日枝神社本殿	防災設備保守点検	経常
〃	大沢家住宅	防災設備保守点検	経常
県指定文化財	三芳野神社社殿ほか	防災設備保守点検	経常
〃	氷川神社本殿ほか	防災設備保守点検	経常
〃	古尾谷八幡神社社殿	防災設備保守点検	経常
市指定文化財	原家住宅	防災設備保守点検	経常
〃	小島家住宅	防災設備保守点検	経常
〃	田中家住宅	防災設備保守点検	経常

（2）史跡・天然記念物の保存（川越市補助金総交付額 1,050,000 円）

市指定文化財	牛塚古墳	環境整備	経常
〃	上戸日枝神社	環境整備	経常
〃	鯨井のヒイラギ	環境整備	経常
〃	下小坂の大ケヤキ	環境整備	経常
〃	古市場のヒイラギ	環境整備	経常
〃	愛宕神社古墳	環境整備	経常
〃	浅間神社古墳	環境整備	経常
〃	仙波東照宮	環境整備	経常

（3）有形文化財の修理（川越市補助金総交付額 4,410,000 円）

重要文化財	喜多院保管指定文化財	燻蒸・殺虫	経常
〃	大沢家住宅	外壁修繕	緊急
市指定文化財	埼玉県立川越女子高等学校 明治記念館	外部・内部修繕	臨時
〃	山下家住宅	外壁ほか修繕	緊急
〃	田中家住宅	観音扉修繕	緊急
〃	田中家住宅	防災設備改修	緊急
〃	仙波東照宮	危険樹木剪定	緊急

（4）民俗文化財の修理

令和5年度は該当なし。

9-2 文化財保存団体への助成と活動状況

(1) 無形民俗文化財の後継者育成・保存事業（川越市補助金総交付額 1,061,000 円）
埼玉県・川越市指定無形民俗文化財 16 件について後継者育成・保存事業を実施、各団体に補助金を交付した。補助の対象となった文化財は次のとおりである。

県指定無形民俗文化財	川越祭りばやし（中台）
〃	老袋の万作
〃	石原の獅子舞
〃	ほろ祭
〃	老袋の弓取式
市指定無形民俗文化財	南田島の足踊り
〃	鯨井の万作
〃	中福の神楽
〃	石田藤宮神社の筒粥神事
〃	芳地戸のフセギ
〃	上寺山のマングリ
〃	上寺山の獅子舞
〃	川越の木遣り
〃	下小坂の獅子舞
〃	石田の獅子舞
〃	新宿雀ノ森のお焚き上げ

(2) 文化財関係団体への助成（川越市補助金総交付額 400,000 円）
文化財の保護・普及を目的に活動している文化財保護団体に対し、団体育成のため川越市補助金を交付した。

川越氷川祭の山車行事保存会
川越市文化財保護協会

9-3 主な保存事業

(1) 補助事業（臨時）

① 浅間神社古墳環境整備事業

事業名称 浅間神社古墳 環境整備事業

対象文化財 市指定文化財（史跡）浅間神社古墳

所在地 富士見町 21-1

事業期間 令和 5 年 4 月 18 日～令和 5 年 6 月 14 日 58 日間

概 要

現在の樹木の状況や剪定の優先順位を調査把握し、史跡内の植栽管理計画を作成した。そしてその計画に沿って、枯枝木伐採及び支障枝剪定作業、及び土留めの補修工事を実施してきた。今年度は、神社北側、西側の隣地に延びた樹木の剪定作業を中心に行い、環境保全に努めた。

② 愛宕神社古墳環境整備事業

事業名称 愛宕神社古墳 環境整備作業
対象文化財 市指定文化財（史跡）愛宕神社古墳
所在地 仙波町4－5－9
事業期間 令和5年7月18日～令和5年9月28日 73日間
概 要

現在の樹木の状況や剪定の優先順位を調査把握し、史跡内の植栽管理計画を作成した。そして、その計画に沿って継続的に安全対策として実施してきた。今年度は、ナラ枯れの被害を受けた樹木伐採作業と、国道16号線に延びた枝の剪定作業などを中心に行い、環境保全に努めた。

③ 埼玉県立川越女子高等学校明治記念館修理事業

事業名称 川越県立川越女子高等学校明治記念館修理工事
対象文化財 市指定有形文化財（建造物）川越県立川越女子高等学校明治記念館
所在地 六軒町1－23
事業期間 令和5年7月22日～同年8月27日 37日間
概 要

川越県立川越女子高等学校明治記念館は、川越高等女学校が町立から県立に移管された翌年の明治45年（大正元年・1912）に建設された校舎の一部である。今回の工事は、明治記念館の外壁の全体塗装を中心に、天窓や引違い戸などの建具の調整、床の部分補修などを行った。

（2）補助事業（緊急）

④ 山下家住宅保存修理事業

事業名称 山下家住宅保存修理事業
対象文化財 市指定有形文化財（建造物）山下家住宅（店蔵）
所在地 仲町10－9
事業期間 令和5年11月14日～同年12月4日 21日間
概 要

山下家住宅は、明治26年（1893）のいわゆる川越大火以前の建造物で、店蔵の奥の内蔵の梁に安政4年（1857）の墨書があることから、店蔵も江戸時代末期から明治初期に建てられたと推定される。川越大火以前の塗屋造町家の特徴を示す貴重な町家である。

今回の工事は、南東角（向かって左側）の大屋根の軒裏の先端と、母屋の先端の外壁について、漆喰が剥がれ土が出ている部分を、漆喰で補修する工事を行った。

⑤ 大沢家住宅保存修理事業

事業名称 大沢家住宅保存修理事業
対象文化財 国指定重要文化財（建造物）大沢家住宅
所在地 元町1－16－2
事業期間 令和5年11月21日～同年12月22日 31日間
概 要

大沢家住宅は、寛政4年（1792）に呉服太物商の西村半右衛門が建てたもので、明治26年（1893）のいわゆる川越大火で焼け残った建造物である。江戸時代の建造物である点が重要文化財に指定された理由の一つであるが、明治期の大火後に土蔵造建築の防火性の高さを実証し、川越に蔵造りの町家が林立する契機となった建造物として貴重な建造物である。

今回の工事は、西側（道路側）の一階部分の外壁の腰壁部分の漆喰が剥がれたため、漆喰の浮いた部分を落とし、中塗り下地から修理をして、最後に漆喰で仕上げる工事を行った。

⑥ 田中家住宅観音扉修理事業

事業名称 田中家住宅観音扉修理事業

対象文化財 市指定有形文化財（建造物）田中家住宅

所在地 仲町 6－4

事業期間 令和 5 年 11 月 2 日～同年 11 月 30 日 29 日間

概 要

田中家住宅は、大正 4 年（1912）に棟上げされた建造物である。外観は、人造石洗い出し仕上げの外壁、3 連のアーチ窓など、洋風の建築要素を採り入れている。一方、構造は土蔵造りであり、和と洋とを折衷させた独自の建造物として異彩を放つ。

今回の工事は、内側一階の、外側（奥側）につながる観音扉の塗装の修理を行った。扉の漆喰部分を一部解体し、シーラー、砂漆喰で補修し、その後塗装で仕上げる工事を行った。

⑦ 田中家住宅防災設備修理事業

事業名称 田中家住宅防災設備修理事業

対象文化財 市指定有形文化財（建造物）田中家住宅

所在地 仲町 6－4

事業期間 令和 6 年 3 月 7 日～同年 3 月 27 日 21 日間

概 要

市指定文化財建造物を火災等の災害から守るため、火災報知設備を新規に取り換え、防災設備の環境を整え指定文化財を適切な環境に戻した。

⑧ 仙波東照宮環境整備事業

事業名称 仙波東照宮環境整備事業

対象文化財 市指定文化財（史跡）東照宮

所在地 小仙波町一丁目 21－1

事業期間 令和 6 年 2 月 15 日～2 月 29 日 15 日間

概 要

令和 6 年 2 月 5 日の積雪による影響で倒木した樹木の伐採や剪定作業を行い、東照宮を健全な環境に改善した。

10 文化財調査

10－1 古文書調査

川越の歴史を理解する基本史料の充実を図るため、市内に残る古文書の悉皆調査を行い、目録刊行のための整理事業を実施している。これまでは、『川越市の文化財』の改訂を見据え、指定文化財の古文書等を調査した。令和5年度は、市指定有形文化財の原田家住宅にある、原田家で所有されていた文書等を整理した。整理は、文書史料1点ずつ封筒につめ、表題や差出・受取などの情報を取るなど目録化の作業を行った。併せて、原田家住宅にある道具などの民具も1点ごとに撮影し調査シートを作成して整理した。

10－2 山車調査

川越市では、国指定重要無形民俗文化財「川越氷川祭の山車行事」で運行される14台の山車をはじめ、祭に使用する山車や屋台を保有している地区が多数ある。

本調査では、国指定重要無形民俗文化財「川越氷川祭の山車行事」で使用する「日本武尊の山車」（宮下町）の、構造・実測調査（CADによる山車図面作成を含む）を実施した。各調査の業務は、山車調査の実績がある特定非営利活動法人川越蔵の会に委託し、実測図を作成することができた。



調査風景

10－3 指定文化財悉皆調査

川越市では、『川越市の文化財』の冊子を昭和47年(1972)に初めて刊行し、指定文化財の紹介を行ってきた。しかし、平成14年(2002)に第6版の改訂版を刊行したのを最後に新たな改訂版は刊行されていなかった。そのため、市制施行100周年を迎える令和4年(2022)に最新版を刊行し、既存の解説文の更新と掲載写真の差し替えを行い、また、あらたに54件の新指定文化財についても解説等を追加した。この改訂版の作成にあたり、指定文化財の状態を確認する調査も併せて行い、現況把握に努めた。

この悉皆調査は改訂版の刊行後も継続して行い、指定文化財の直近の状況を把握する。

10－4 指定文化財原田家住宅経年劣化把握調査

川越市では、令和3年に取得した市指定文化財建造物（店蔵）と市指定史跡に指定されている原田家住宅について、今後の活用を見据えた調査を実施した。令和4年度は、市指定文化財建造物の店蔵を始め、住居棟・文庫蔵・東蔵・西蔵の5棟を対象に、常時微動測定を実施し、あわせて、原田家住宅5棟の建造物の固有振動特性の評価に必要な構造調査を行った。

令和5年の調査では、経年劣化把握調査2か年計画の1年目として、店蔵・住居棟・文庫蔵・東蔵・西蔵の5棟を対象に、展開図・断面図などの図面を作成した。調査の業務は、建造物調査の実績があり、令和4年度も調査を行った特定非営利活動法人川越蔵の会に委託して実施した。

10－5 指定文化財加藤家住宅実測調査

加藤家住宅は、大正浪漫通りに位置し、明治27年(1894)時の鐘の再建をてがけた関根松五郎が、明治30年代に建てたと推測される建造物である。正面は土蔵造りにして、側面の壁を大谷石の石積みとする特異な形式の土蔵造町家であり、川越町家の歴史を探る上で貴重な建造物であるため、平成8年4月12日に加藤家住宅は市指定有形文化財（建造物）に指定された。

しかし、令和5年1月20日の火災で焼損し、大屋根や小屋組などの損傷に至った。その後、再建の可能性も含め現状を把握するために、令和5年2月、主に2階を中心に実測調査を、建造物調査の多くの実績をもつ特定非営利活動法人川越蔵の会に委託して実施した。

その後、加藤家住宅は解体工事を行うこととなり、改めて令和5年6月、1階部分を中心とした実測調査を、再び川越蔵の会に委託して実施した。



加藤家住宅（2021.2）



加藤家住宅（2023.1.21、発災後）

11 川越市文化財保存活用地域計画の策定

11－1 川越市文化財保存活用地域計画とは

平成31年施行の改正文化財保護法により、市町村が地域の文化財の保存・活用のために、文化財保存活用地域計画（以下、地域計画）を作成できるようになった。川越市では、令和2年から地域計画の策定に向けて準備を開始した。

今年度は、川越市文化財保存活用地域計画策定協議会や川越市文化財保護審議会による意見の聴取、地域計画のパブリックコメントによる意見聴取、文化庁の文化財調査官による文化庁協議を実施した。その結果、修正を加えた地域計画を、埼玉県を通して文化庁へ提出したところ、令和5年12月15日に文化庁から地域計画の認定を受けた。また、令和6年度からの地域計画の実施を見据え、高階地区を中心にした講座などを実施した。

11－2 文化庁協議について

川越市文化財保存活用地域計画の各章の素案などについて、文化庁文化資源活用課と協議を、対面で5月24日に実施した。その後は電子メールや電話で、文言の修正などの協議を重ねた。10月17日には、村上文化庁文化財調査官が現地調査として訪問された。

11－3 文化財保存活用地域計画にともなう講座について

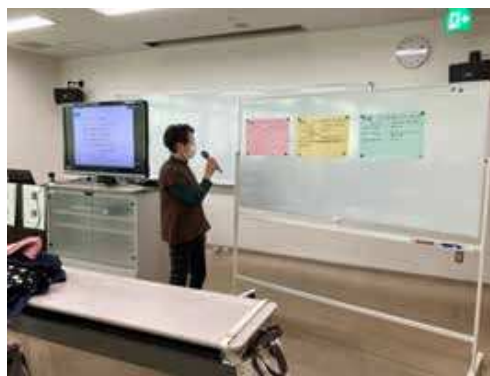
地域計画の趣旨や川越市の歴史遺産の魅力を広く市民に周知するため、以下のような講座を実施した。高階地区のみの開催となったが、地域の歴史遺産に対する地域住民の想いを知る講座となり、令和6年度から始まる地域計画を見据えた講座ともなった。

たかしな遺産めぐり講座3（於：高階公民館）

日程	時間	内容	人数
1月18日（木）	13時半～16時	川越街道の座学とフィールドワーク	20
2月1日（木）	13時半～15時半	地域計画の座学、たかしな遺産についてワークショップ	16



フィールドワーク（砂新田春日神社）



ワークショップ

12 文化財の活用

12－1 資料の貸出

令和5年度には4件の依頼を受け、下記のとおり資料の貸出しを行った。

(1) 常設展等に貸与した資料（3件）

貸出期間	貸出先	貸出目的	貸出資料
4月1日～3月31日	人間市博物館	常設展『入間の歴史』に展示	小仙波四丁目遺跡出土遺物5点
4月1日～3月31日	学校法人ひまわり学園	新園舎内展示ケースに展示	寿町東遺跡出土遺物10点
4月1日～3月31日	市立博物館	常設展『原始・古代コーナー』他に展示	河越館跡出土遺物他計292点

(2) 特別展・企画展等に貸与した資料（1件）

貸出期間	貸出先	貸出目的	貸出資料
10月18日～12月15日	川越市立博物館	企画展『酒と宴』に展示	河越館跡出土遺物他10点

12－2 市指定文化財の活用状況

(1) 時の鐘

種 別 市指定有形文化財 建造物
所 在 地 幸町15－7



時の鐘は、江戸時代初期に川越城主酒井忠勝により現在の場所に創建された。大火による焼失を繰り返し、現在の時の鐘は明治26年（1893）の川越大火の翌年に再建された。現在では小江戸川越のシンボルとなっている。

自動鐘打機による1日4回の鐘つき（午前6時、正午、午後3時、午後6時に各6打ずつ）と夜間ライトアップ（午後10時まで）を行っている。

活用の状況

月日	件名	内容
8月6・9日	原爆の日における時の鐘の点鐘	広島市及び長崎市の原爆死没者の冥福と平和を祈念するため、原爆投下の同日同時刻に点鐘した。
11月3日～12日	プチ蔵と現代美術展2023の展示場所提供	川越市内13か所を会場に5～6人の海外作家の現代美術の作品を展示する

(2) 永島家住宅（旧武家屋敷）

種 別 市指定記念物 史跡
所 在 地 三久保町5-3

永島家住宅は、川越城南大手門近くの武家地であった南久保町（現三久保町の一部）の一角に構えられた中級武士の武家屋敷である。平成21年に土地・建物の一部の寄付を受け、平成24年3月から庭園の公開を開始した。平成28年度に残りの建物部分が寄付され、土地・建物の全てが市の所有となった。



庭園公開

一般公開 毎週土曜日（12月29日～1月3日除く）
特別公開 ゴールデンウィーク 5月3・4・5日（水・木・金）
川越まつり 10月14・15日（日）
公開時間 午前9時～午後4時

見学者数

公開月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
公開日数(日)	5	7	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	56
見学者数(人)	75	271	72	50	57	104	379	263	147	96	136	161	1,811

(3) 川越城中ノ門堀跡

種 別 県指定史跡「川越城跡」の一部
所 在 地 郭町1丁目8-6

川越城は長禄元年（1457）に太田道真・道灌父子により築城され、江戸時代まで存続した。中ノ門堀は、江戸時代の正保年間（1644～47）に川越藩主松平信綱が行った城の拡張工事に伴って築造された堀と考えられる。明治以降に旧城内の宅地化が進む中、堀跡としては唯一埋め立てられず残存していた。平成20年度に市が用地取得、平成21年度に整備を行い、平成22年度から公開している。



公開時間 午前9時～午後5時（12月29日～1月3日除く）

12－3 他部局所管の文化財施設の状況

(1) 川越城本丸御殿〔博物館〕

指定名称 川越城本丸御殿及び家老詰所
種 別 県指定有形文化財 建造物
所 在 地 郭町2丁目13－1

本丸御殿は嘉永元年（1848）に当時の城主松平大和守齊典により建築された御殿建築。明治以降次第に解体され、玄関と大広間部分のみが残っている。昭和42年の県指定後に復原修理し、一般公開を開始した。家老詰所は昭和62年に復原移築された。平成20年から23年にかけて、半解体修理を実施した。



活用の状況

開館時間 午前9時～午後5時
休 館 日 月曜日（休日の場合は翌日）、第4金曜日（休日を除く）、12/29～1/3

現状変更・修理等の状況

なし

(2) 川越市蔵造り資料館〔博物館〕

指定名称 旧小山家住宅（店蔵・袖蔵）、
旧小山家住宅（住居棟、一番蔵、二番蔵、三番蔵、便所棟、稲荷社、門及び塀）
種 別 市指定有形文化財 建造物
所 在 地 幸町7－9

明治26年（1893）の川越大火直後に、煙草商を営む小山家（屋号万文）が建設した蔵造り商家。昭和52年から川越市文化財保護協会により蔵造り資料館として公開され、昭和58年に教育委員会の所管となった。



活用の状況 耐震化工事のため休館

現状変更・修理等の状況

蔵造り資料館耐震化工事（平成28年～）

(3) 旧川越織物市場、旧栄養食配給所〔都市景観課〕

指定名称及び所在地

旧川越織物市場 松江町2丁目11－10

旧栄養食配給所 松江町2丁目12－4

種 別 市指定有形文化財 建造物



旧川越織物市場は明治43年（1910）、衰退する川越の織物流通業界の起死回生策として建設された。旧栄養食配給所は当初は事務所だったとみられる建物で、昭和9年（1934）から昭和20年まで栄養食配給所が開設されていた。平成14年に建物、平成25年に土地を市が取得し、令和2年度から旧川越織物市場の復原工事を行っている。

令和2年度から令和5年度まで復元工事を実施した。令和6年度からは、復元した建物を活用し、「川越市文化創造インキュベーション施設（コエトコ）」として運営を行う予定である。

現状変更・修理等の状況

旧栄養食配給所等整備工事（令和4年6月28日～令和5年10月31日）

(4) 川越市旧山崎家別邸、川越市旧山崎氏別邸庭園〔観光課〕

指定・登録名称及び種別

旧山崎家別邸 国重要文化財（建造物）

旧山崎氏別邸庭園 国登録記念物名勝地

所在地 松江町2丁目7－8



旧山崎家別邸は、「亀屋」の5代目嘉七氏の隠居所として大正13年（1924）に建設された、和洋折衷住宅と和風庭園。保岡勝也が設計した。

平成18年に市の所有となり、平成26年度に建物改修工事、平成27年度に植栽工事等を実施。平成28年度から庭園・母屋を一般公開している。

令和元年9月30日付で国の重要文化財に指定された。

活用の状況

通常公開のほか、蔵と現代美術展（11月3日～11月12日）を実施した。

公開時間 4月～9月 午前9時30分～午後6時30分（入館は午後6時まで）

10月～3月 午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）

休館日 第1・3水曜日、12月29日～1月1日

現状変更・修理等の状況

なし

(5) 川越市産業観光館〔産業振興課〕

登録名称 旧鏡山酒造明治蔵、旧鏡山酒造
大正蔵、旧鏡山酒造昭和蔵
種 別 国登録有形文化財
所 在 地 新富町1丁目10-1



明治8年(1875)に創業した鏡山酒造の酒蔵である。平成12年(2000)に廃業した翌年市が土地と建物を取得し、平成19～20年度に建物改修工事を実施した。平成22年度から産業観光館「小江戸蔵里」として活用している。

活用の状況

指定管理により、地域の特産物などを提供する飲食・物販施設として活用している。

平成29年度には、昭和蔵を改装し、埼玉県内の地酒(現在32歳)を取り扱う、酒蔵の特性を活かした歴史や文化を感じてもらえる魅力ある施設として保存・活用している。

現状変更・修理等の状況

なし

12-4 文化財の公開

令和5年度に公開届の提出された文化財は以下のとおりである。

(1) 常設展等に貸与した資料

	貸出期間	貸出先	貸出目的	貸出資料
1	4月1日 ～3月31日	入間市博物館	常設展『人間の歴史』 に展示	小仙波四丁目遺跡 出土遺物5点
2	4月1日 ～3月31日	学校法人ひまわり学園	新園舎内展示ケース に展示	寿町東遺跡出土遺物10点
3	4月1日 ～3月31日	市立博物館	常設展『原始・古代 コーナー』他に展示	河越館跡出土遺物他50点

(2) 博物館等での公開

	公開期間	指定区分	公開した文化財	公開施設	展示会名称
1	6月10日 ～9月10日	県指定 書跡・典籍・古文書	光西寺松井家文書 (松平家康起請文ほか合計7点)	西尾市 岩瀬文庫	市制70周年・岩瀬文庫 リニューアル20周年記念 特別展「家康を支えた武 将・松井忠次」
2	7月1日 ～8月20日	県指定 書跡・典籍・古文書	光西寺松井家文書 (松平家康起請文)	岡崎市美術 博物館	NHK大河ドラマ特別展 「どうする家康」
3	11月3日 ～12月13日	県指定 書跡・典籍・古文書	光西寺松井家文書 (松平家康起請文)	静岡市 美術館	NHK大河ドラマ特別展 「どうする家康」

	公開期間	指定区分	公開した文化財	公開施設	展示会名称
4	1月13日 ～3月3日	県指定 工芸品	銅造阿弥陀三尊懸仏	埼玉県立 嵐山史跡の 博物館	令和5年度企画展 「武蔵武士の食と信仰 —食べて 祈って戦って—」
5	9月16日 ～10月1日	市指定 工芸品	刀 銘（表）應小川敬之好藤 枝太郎英義作之 （裏）文久三癸亥年八 月吉日目方二百三十目ノ タレ好通	市立博物館	令和5年度埼玉県名刀展 「大名家のお抱え刀工」
		市指定 工芸品	薙刀 銘（表）武州住英辰作 （裏）なし		

（3）川越まつり会館での山車展示

	公開期間	指定区分	公開した山車	保有町内
1	4月27日～6月27日	県指定 有形民俗	川越氷川祭山車（三番叟の山車）	六軒町
2	6月29日～8月22日	県指定 有形民俗	川越氷川祭山車（山王の山車）	元町二丁目
3	6月29日～8月22日	県指定 有形民俗	川越氷川祭山車（鈿女の山車）	大手町

13 埋蔵文化財

川越市内には、345カ所の埋蔵文化財包蔵地があり、これらは国・県の指導により分布調査を行い設定したものである。この包蔵地内で土木工事などの開発行為を行う場合には、工事に先立って、埋蔵文化財の有無を確認するための試掘調査が必要である。令和5年度は以下のとおり70件の試掘調査を実施した。試掘調査により埋蔵文化財の存在が認められた場合は開発者側と保存について協議を行い、開発によって破壊を免れない埋蔵文化財については、遺跡の姿を後世に伝えることを目的とした緊急発掘調査を実施している。令和5年度は4件の発掘調査を行い、多くの遺構が検出され、遺物が出土している。

13－1 埋蔵文化財調査一覧

（1）発掘調査件数の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	10年間の合計
件数	1	4	4	4	8	5	4	12	13	3	58件
前年度からの継続	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	—
合 計	2	4	5	5	8	5	4	12	14	4	—

(2) 発掘調査一覧

	遺跡名	調査 回数	調査地番	原因	調査面積
			調査期間	調査主体	時代
1	東下川原遺跡	5 次	的場 2568-4・5、2569、2570-2、 2581-2・3、2582-1・11	道路	702.8㎡
			令和 5 年 3 月 13 日～7 月 3 日	教育委員会	古代
2	川越城跡	47 次	郭町 1 丁目 9-10	個人住宅兼事務所	22㎡
			8 月 4 日	教育委員会	近世
3	川越城跡	48 次	郭町 2 丁目 14-4・9・10・20	個人住宅	236㎡
			10 月 17 日～10 月 23 日	教育委員会	中世
4	新田屋敷遺跡	15 次	上戸 212-2、213-3、216-4、217-3、 225-2、226-2、228-8	道路	1826㎡
			7 月 11 日～令和 6 年 3 月 27 日	教育委員会	中世

《結果欄について》
遺構なし…× 遺構あり…○ 本発掘調査実施…◎

(3) 試掘調査一覧

	実施日	調査地番	調査面積 (㎡)	遺跡名	結果
1	4 月 10 日	小仙波町 1 丁目 11-17・21	126	喜多院境内遺跡	×
2	4 月 12 日	笠幡 299- 2	499	賀嘉良遺跡	×
3	4 月 14 日	寿町 1 丁目 2292- 3	249	寿町東遺跡	×
4	4 月 18 日	寺尾 838- 7・15	117	田成遺跡	×
5	4 月 20 日	笠幡 980- 3	857	宮北遺跡	×
6	4 月 21 日	小仙波町 1 丁目 21- 1	11,670	東照宮遺跡	×
7	4 月 24 日	小仙波町 1 丁目 17 の一部	121	喜多院境内遺跡	×
8	4 月 25 日	稻荷町 6-81	55	藤原町遺跡	×
9	4 月 27 日	稻荷町 6-109	66	藤原町遺跡	×
10	4 月 28 日	笠幡 1597- 5・7・9・13	252	関口田端遺跡	×
11	5 月 9 日	並木 250- 1 の一部	502	並木遺跡	×
12	5 月 18 日	小仙波町 2 丁目 18-21	103	小仙波 2 丁目 A 遺跡	×
13	5 月 30 日	鯨井 1915- 1	337	浅間下遺跡	○
14	6 月 13 日	今泉 510-1・2、511、542-3 の各一部	202	南田遺跡	×
15	6 月 15 日	並木 248- 1、250-19	471	並木遺跡	×
16	6 月 15 日	小中居 428- 1	216	小中居遺跡	×
17	6 月 19 日	並木 250- 1・2	509	並木遺跡	×
18	6 月 21 日	小仙波町 3 丁目 17-12	747	小仙波 4 丁目遺跡	○
19	7 月 4 日	郭町 2 丁目 11-52	227	川越城跡	○
20	7 月 6 日	上戸 182-25	101	天王遺跡	×
21	7 月 10 日	郭町 2 丁目 4-42、18-15	316	川越城跡	×
22	7 月 14 日	鯨井 1816- 1・2・3	643	有泉遺跡	×
23	8 月 1 日	豊田町 3 丁目 2-20・26	182	天屋坂遺跡	×
24	8 月 8 日	並木 377- 3	165	並木遺跡	×
25	8 月 18 日	寺尾 286-27・28	143	寺尾貝塚	×
26	8 月 21 日	寿町 1 丁目 2282	922	広栄町遺跡	×

	実施日	調査地番	調査面積 (㎡)	遺跡名	結果
27	8月21日	広栄町 21-7	254	山王脇遺跡	×
28	8月23日	上戸 323- 1	1,447	龍光遺跡	×
29	8月24日	南田島 642- 1	161	南田島遺跡	×
30	8月28日	稲荷町 1- 3	256	藤原町遺跡	×
31	8月29日	寺尾 94- 9	97	寺尾貝塚	×
32	8月30日	稲荷町 14- 4	1,120	藤原町遺跡	×
33	9月1日	郭町 1丁目 2- 5・6の各一部	161	川越城跡	○
34	9月7日	小中居 428- 7	216	小中居遺跡	×
35	9月14日	鯨井 1914	205	浅間下遺跡	○
36	9月15日	上戸 352- 2	413	龍光遺跡	○
37	9月15日	的場 550- 4	101	八幡前・若宮遺跡	×
38	9月20日	笠幡 3605- 1	458	鳥ヶ谷戸前遺跡	×
39	9月25日	藤間 397- 1	118	藤原町遺跡	×
40	9月26日	稲荷町 8- 7	1,258	藤原町遺跡	×
41	10月12日	鯨井 1894- 7・9	261	浅間下遺跡	×
42	10月12日	今泉 279- 2	243	西河原遺跡	×
43	10月13日	南田島 721- 9	101	南田島遺跡	×
44	10月16日	藤原町 20- 3・7	581	藤原町遺跡	×
45	10月24日	上戸 349- 1	291	龍光遺跡	○
46	10月25日	下小坂 700- 2	667	仲C遺跡	×
47	10月27日	稲荷町 4-18	92	藤原町遺跡	×
48	10月30日	笠幡 2076- 5、7077- 2	401	南本町遺跡	×
49	10月31日	寺尾 147- 1・2・4	660	寺尾貝塚	×
50	11月2・3日	古谷上 4174- 1、4177、4179- 1	2,323	善仲寺館跡	×
51	11月6日	稲荷町 4-14	82	藤原町遺跡	×
52	11月13日	上戸 280- 7・8	301	日枝神社遺跡	×
53	11月14日	藤原町 27- 9・12	187	藤原町遺跡	×
54	11月16日	寺尾 267- 1	870	寺尾貝塚	×
55	11月29日	寺尾 273-15・36	173	寺尾貝塚	×
56	11月29日	稲荷町 4-17	83	藤原町遺跡	×
57	12月18日	寺尾 622- 5	150	寺尾貝塚	×
58	12月18日	中台 2丁目 14-12の一部	153	大塚遺跡	×
59	12月19日	今泉 279- 1	205	西河原遺跡	×
60	12月25日	下広谷 605、606-2	887	天神前遺跡	×
61	1月16日	豊田本 5丁目 2- 4の一部	495	黒川町遺跡	×
62	1月25日	小仙波町 5丁目 8- 5・16・17	415	弁天西遺跡	○
63	1月26日	寺尾 305- 6・8	100	寺尾貝塚	×
64	1月30日	藤原町 26-13	254	藤原町遺跡	×
65	2月13日	下広谷 439- 4・5	243	在家遺跡	×
66	2月13日	仙波町 3丁目 31-21・22・23・24・ 31・33・34・36・37の一部	366	仙波氏館跡	×
67	2月14日	郭町 2丁目 1- 7	152	川越城跡	◎
68	2月15日	郭町 2丁目 20-12・13	331	川越城跡	◎
69	2月26日	新宿町 6丁目 8-53	100	新宿小南遺跡	×
70	2月27日	上戸 71- 1	474	山王久保遺跡	○

	実施日	調査地番	調査面積 (㎡)	遺跡名	結果
71	2月28日	的場 482- 3	356	八幡前・若宮遺跡	×
72	3月1日	笠幡 1870- 2	216	笠丹草遺跡	×
73	3月5日	郭町 1丁目 2-19	155	川越城跡	○
74	3月8日	郭町 1丁目 16-10	286	川越城跡	○
75	3月19日	南大塚 1丁目 5- 3	620	西中原 1号墳	◎
76	3月21日	上戸 72- 1の一部	473	山王久保遺跡	×
77	3月28日	小堤 351- 1	380	夜弊賀伎東遺跡	×

13 - 2 試掘調査

No. 1 喜多院境内遺跡 (19-110)

調査地番 小仙波町 1丁目 11 - 17・21

調査面積 126㎡

調査日時 令和 5年 4月 10日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



No. 2 賀嘉良遺跡 (19-97)

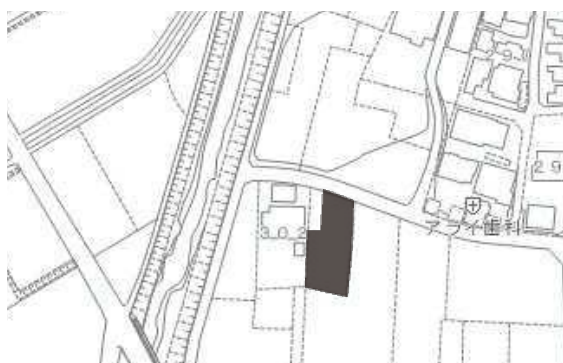
調査地番 笠幡 299 - 2

調査面積 499㎡

調査日時 令和 5年 4月 12日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No. 3 寿町東遺跡 (19-158)

調査地番 寿町 1丁目 2292 - 3

調査面積 249㎡

調査日時 令和 5年 4月 14日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No. 4 田成遺跡 (19-141)

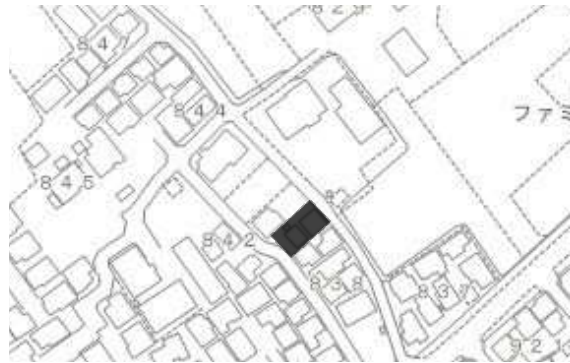
調査地番 寺尾 838 - 7・15

調査面積 117m²

調査日時 令和5年4月18日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No. 5 宮北遺跡 (19-189)

調査地番 笠幡 980 - 3

調査面積 857m²

調査日時 令和5年4月20日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No. 6 東照宮遺跡 (19-111)

調査地番 小仙波町 1丁目 21 - 1

調査面積 11,670m²

調査日時 令和5年4月21日

調査原因 社務所・売店

調査結果 遺構なし



No. 7 喜多院境内遺跡 (19-110)

調査地番 小仙波町 1丁目 17 の一部

調査面積 121m²

調査日時 令和5年4月24日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No. 8 藤原町遺跡 (19-142)

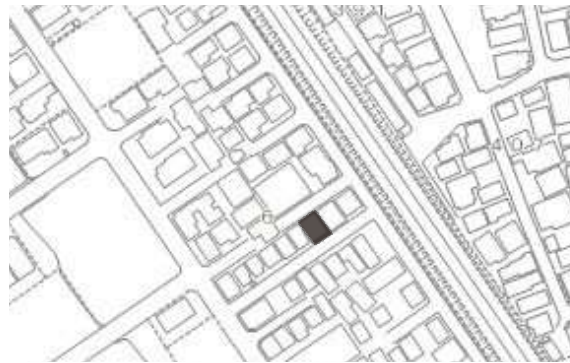
調査地番 稲荷町 6 - 81

調査面積 55m²

調査日時 令和 5 年 4 月 25 日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No. 9 藤原町遺跡 (19-142)

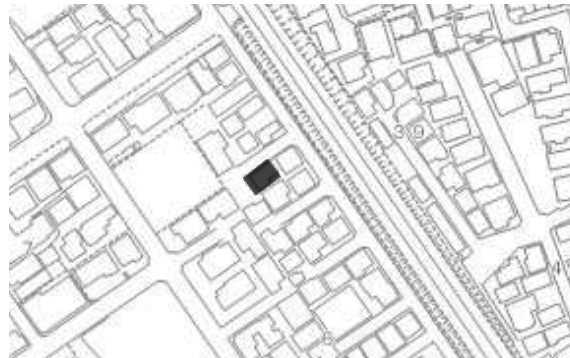
調査地番 稲荷町 6 - 109

調査面積 66m²

調査日時 令和 5 年 4 月 27 日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.10 関口田端遺跡 (19-179)

調査地番 笠幡 1597 - 5・7・9・13

調査面積 252m²

調査日時 令和 5 年 4 月 28 日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.11 並木遺跡 (19-326)

調査地番 並木 250 - 1 の一部

調査面積 502m²

調査日時 令和 5 年 5 月 9 日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.12 小仙波2丁目A遺跡 (19-106)

調査地番 小仙波町2丁目18-21

調査面積 103m²

調査日時 令和5年5月18日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.13 浅間下遺跡 (19-332)

調査地番 鯨井1915-1

調査面積 337m²

調査日時 令和5年5月30日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構あり

(古墳～古代・住居跡5、土坑3)

対応 現状保存



No.14 南田遺跡 (19-320)

調査地番 今泉510-1・2、511、542-3
の各一部

調査面積 202m²

調査日時 令和5年6月13日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.15 並木遺跡 (19-326)

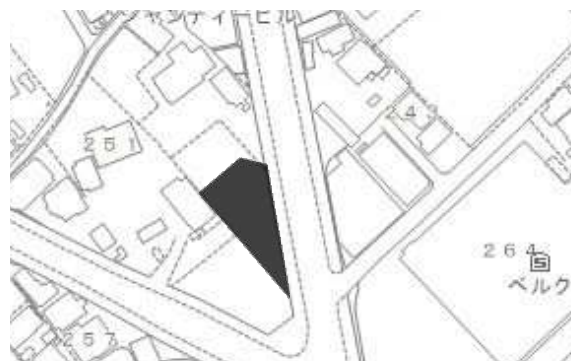
調査地番 並木248-1、250-19

調査面積 471m²

調査日時 令和5年6月15日

調査原因 集合住宅

調査結果 遺構なし



No.16 小中居遺跡 (19-327)

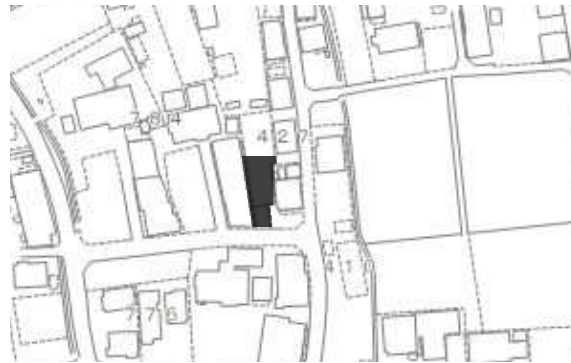
調査地番 小中居 428 - 1

調査面積 216㎡

調査日時 令和5年6月15日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.17 並木遺跡 (19-326)

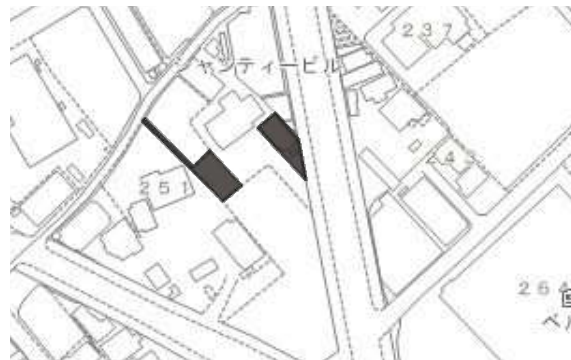
調査地番 並木 250 - 1・2

調査面積 509㎡

調査日時 令和5年6月19日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.18 小仙波4丁目遺跡 (19-115)

調査地番 小仙波町3丁目17-12

調査面積 747㎡

調査日時 令和5年6月21日

調査原因 個人住宅・コインパーキング

調査結果 遺構あり

(古代・住居跡多数、土坑多数)

対応 現状保存



No.19 川越城跡 (19-89)

調査地番 郭町2丁目11-52

調査面積 227㎡

調査日時 令和5年7月4日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構あり(近世・造成土)

対応 現状保存



No.20 天王遺跡 (19-49)

調査地番 上戸 182 - 25

調査面積 101m²

調査日時 令和5年7月6日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.21 川越城跡 (19-89)

調査地番 郭町2丁目4-42、18-15

調査面積 316m²

調査日時 令和5年7月10日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.22 有泉遺跡 (19-43)

調査地番 鯨井 1816 - 1・2・3

調査面積 643m²

調査日時 令和5年7月14日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.23 天屋坂遺跡 (19-157)

調査地番 豊田町3丁目2-20・26

調査面積 182m²

調査日時 令和5年8月1日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.24 並木遺跡 (19-326)

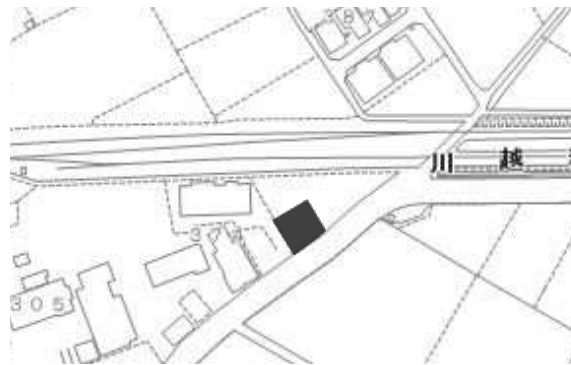
調査地番 並木 377 - 3

調査面積 165m²

調査日時 令和5年8月8日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.25 寺尾貝塚 (19-140)

調査地番 寺尾 286 - 27・28

調査面積 143m²

調査日時 令和5年8月18日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.26 広栄町遺跡 (19-52)

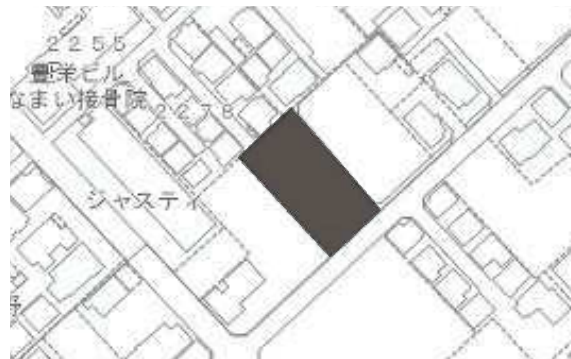
調査地番 寿町 1丁目 2282

調査面積 922m²

調査日時 令和5年8月21日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.27 山王脇遺跡 (19-156)

調査地番 広栄町 21 - 7

調査面積 254m²

調査日時 令和5年8月21日

調査原因 事務所兼個人住宅

調査結果 遺構なし



No.28 龍光遺跡 (19-47)

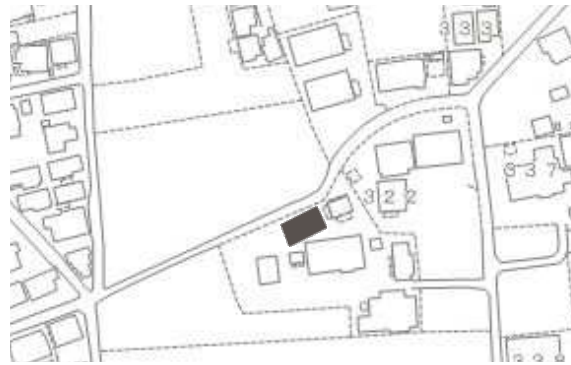
調査地番 上戸 323 - 1

調査面積 1,447㎡

調査日時 令和5年8月23日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.29 南田島遺跡 (19-325)

調査地番 南田島 642 - 1

調査面積 161㎡

調査日時 令和5年8月24日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.30 藤原町遺跡 (19-142)

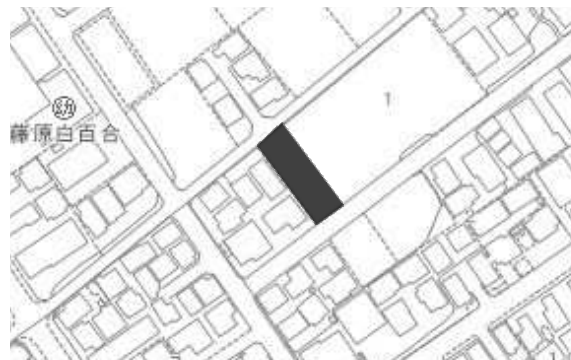
調査地番 稲荷町 1 - 3

調査面積 256㎡

調査日時 令和5年8月28日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.31 寺尾貝塚 (19-140)

調査地番 寺尾 94 - 9

調査面積 97㎡

調査日時 令和5年8月29日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.32 藤原町遺跡 (19-142)

調査地番 稲荷町 14 - 4

調査面積 1,120㎡

調査日時 令和5年8月30日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



No.33 川越城跡 (19-89)

調査地番 郭町 1丁目 2 - 5・6の各一部

調査面積 161㎡

調査日時 令和5年9月1日

調査原因 集合住宅

調査結果 遺構あり(近世・造成土)

対応 現状保存



No.34 小中居遺跡 (19-327)

調査地番 小中居 428 - 7

調査面積 216㎡

調査日時 令和5年9月7日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.35 浅間下遺跡 (19-332)

調査地番 鯨井 1914

調査面積 205㎡

調査日時 令和5年9月14日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構あり(古代・住居跡3、土坑2)

対応 現状保存



No.36 龍光遺跡 (19-47)

調査地番 上戸 352 - 2

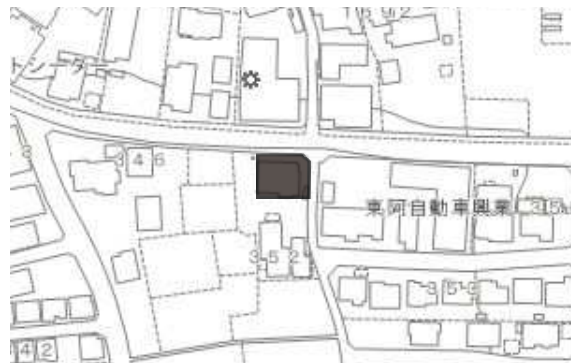
調査面積 413m²

調査日時 令和5年9月15日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構あり(古代・住居跡1)

対応 現状保存



No.37 八幡前・若宮遺跡 (19-59)

調査地番 的場 550 - 4

調査面積 101m²

調査日時 令和5年9月15日

調査原因 貸家住宅

調査結果 遺構なし



No.38 鳥ヶ谷戸前遺跡 (19-285)

調査地番 笠幡 3605 - 1

調査面積 458m²

調査日時 令和5年9月20日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.39 藤原町遺跡 (19-142)

調査地番 藤間 397 - 1

調査面積 118m²

調査日時 令和5年9月25日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.40 藤原町遺跡 (19-142)

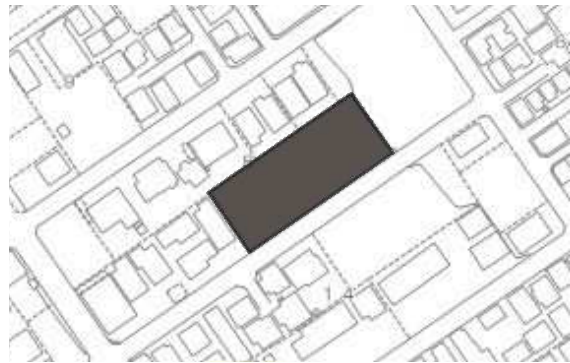
調査地番 稲荷町 8 - 7

調査面積 1258m²

調査日時 令和 5 年 9 月 26 日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



No.41 浅間下遺跡 (19-332)

調査地番 鯨井 1894 - 7・9

調査面積 261m²

調査日時 令和 5 年 10 月 12 日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.42 西河原遺跡 (19-321)

調査地番 今泉 279 - 2

調査面積 243m²

調査日時 令和 5 年 10 月 12 日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.43 南田島遺跡 (19-325)

調査地番 南田島 721 - 9

調査面積 101m²

調査日時 令和 5 年 10 月 13 日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.44 藤原町遺跡 (19-142)

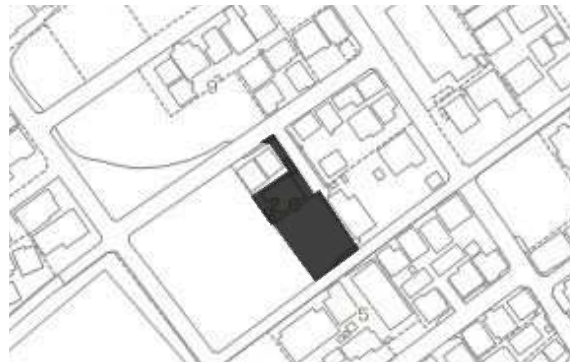
調査地番 藤原町 20 - 3・7

調査面積 581m²

調査日時 令和5年10月16日

調査原因 集合住宅

調査結果 遺構なし



No.45 龍光遺跡 (19-47)

調査地番 上戸 349 - 1

調査面積 291m²

調査日時 令和5年10月24日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構あり(古代・住居跡2)

対応 現状保存



No.46 仲C遺跡 (19-15)

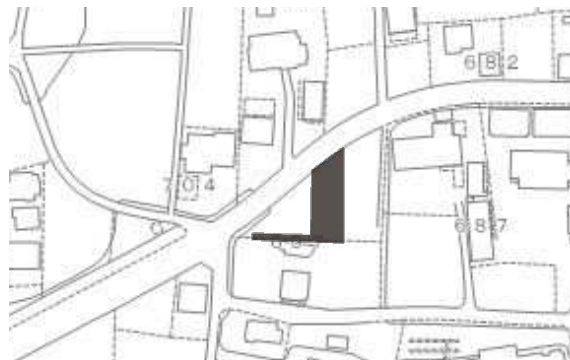
調査地番 下小坂 700 - 2

調査面積 667m²

調査日時 令和5年10月25日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.47 藤原町遺跡 (19-142)

調査地番 稻荷町 4 - 18

調査面積 92m²

調査日時 令和5年10月27日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.48 南本町遺跡 (19-199)

調査地番 笠幡 2076 - 5、7077 - 2

調査面積 401m²

調査日時 令和5年10月30日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.49 寺尾貝塚 (19-140)

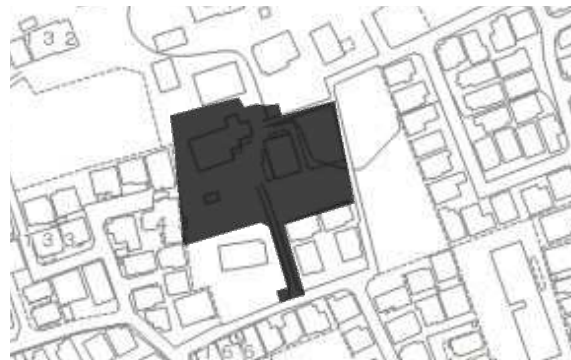
調査地番 寺尾 147 - 1・2・4

調査面積 660m²

調査日時 令和5年10月31日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



No.50 善仲寺館跡 (19-151)

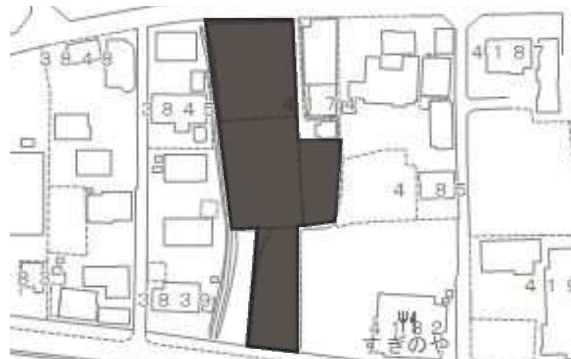
調査地番 古谷上 4174 - 1、4177、4179 - 1

調査面積 2,323m²

調査日時 令和5年11月2日～11月3日

調査原因 児童支援放課後等デイサービス施設

調査結果 遺構なし



No.51 藤原町遺跡 (19-142)

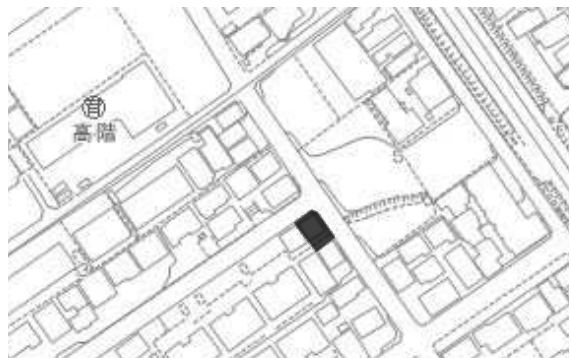
調査地番 稻荷町 4 - 14

調査面積 82m²

調査日時 令和5年11月6日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.52 日枝神社遺跡 (19-44)

調査地番 上戸 280 - 7・8

調査面積 301m²

調査日時 令和5年11月13日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.53 藤原町遺跡 (19-142)

調査地番 藤原町 27 - 9・12

調査面積 187m²

調査日時 令和5年11月14日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.54 寺尾貝塚 (19-140)

調査地番 寺尾 267 - 1

調査面積 870m²

調査日時 令和5年11月16日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.55 寺尾貝塚 (19-140)

調査地番 寺尾 273 - 15・36

調査面積 173m²

調査日時 令和5年11月29日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.56 藤原町遺跡 (19-142)

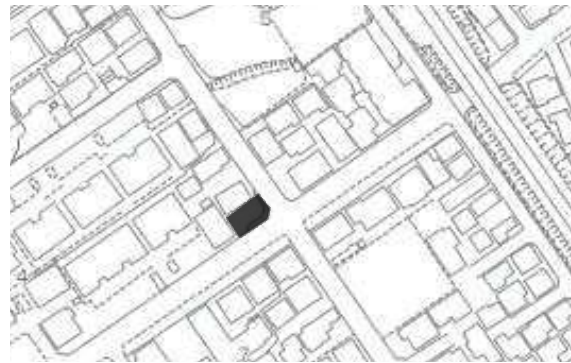
調査地番 稲荷町4-17

調査面積 83㎡

調査日時 令和5年11月29日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.57 寺尾貝塚 (19-140)

調査地番 寺尾622-5

調査面積 150㎡

調査日時 令和5年12月18日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.58 大塚遺跡 (19-132)

調査地番 中台2丁目14-12の一部

調査面積 153㎡

調査日時 令和5年12月18日

調査原因 集合住宅

調査結果 遺構なし



No.59 西河原遺跡 (19-321)

調査地番 今泉279-1

調査面積 205㎡

調査日時 令和5年12月19日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.60 天神前遺跡 (19-234)

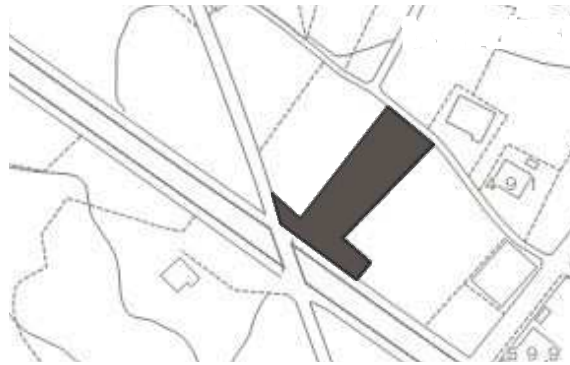
調査地番 下広谷 605、606 - 2

調査面積 887m²

調査日時 令和5年12月25日

調査原因 雨水貯留槽施設

調査結果 遺構なし



No.61 黒川町遺跡 (19-87)

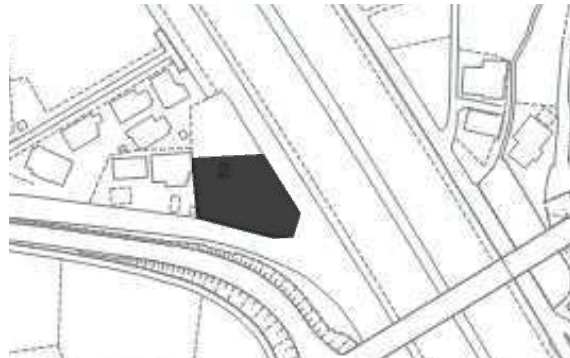
調査地番 豊田本5丁目2-4の一部

調査面積 495m²

調査日時 令和6年1月16日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.62 弁天西遺跡 (19-116)

調査地番 小仙波町5丁目8-5・16・17

調査面積 415m²

調査日時 令和6年1月25日

調査原因 集合住宅

調査結果 遺構あり

(古墳～古代・住居跡3、土坑1)

対応 現状保存



No.63 寺尾貝塚 (19-140)

調査地番 寺尾 305 - 6・8

調査面積 100m²

調査日時 令和6年1月26日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.64 藤原町遺跡 (19-142)

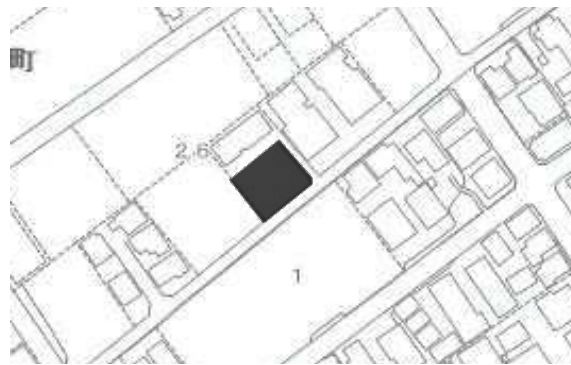
調査地番 藤原町 26 - 13

調査面積 254㎡

調査日時 令和6年1月30日

調査原因 分譲住宅

調査結果 遺構なし



No.65 在家遺跡 (19-228)

調査地番 下広谷 439 - 4・5

調査面積 243㎡

調査日時 令和6年2月13日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.66 仙波氏館跡 (19-80)

調査地番 仙波町 3丁目 31 - 21・22・23・
24・31・33・34・36・37 の一部

調査面積 366㎡

調査日時 令和6年2月13日

調査原因 寺院本堂客殿建替

調査結果 遺構なし



No.67 川越城跡 (19-89)

調査地番 郭町 2丁目 1 - 7

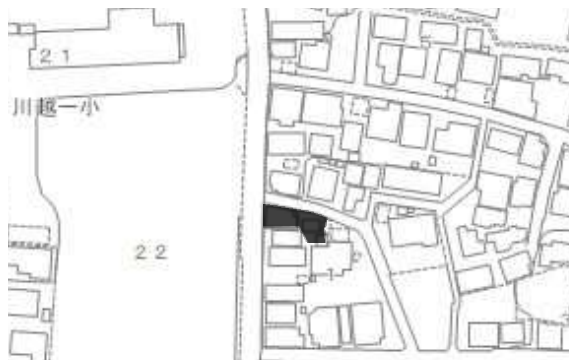
調査面積 152㎡

調査日時 令和6年2月14日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構あり (近世・造成土、堀)

対応 川越城跡第49次調査



No.68 川越城跡 (19-89)

調査地番 郭町2丁目20-12・13

調査面積 331m²

調査日時 令和6年2月15日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構あり(近世・堀)

対応 川越城跡第50次調査



No.69 新宿小南遺跡 (19-126)

調査地番 新宿町6丁目8-53

調査面積 100m²

調査日時 令和6年2月26日

調査原因 建売住宅

調査結果 遺構なし



No.70 山王久保遺跡 (19-50)

調査地番 上戸71-1

調査面積 474m²

調査日時 令和6年2月27日

調査原因 貸家住宅

調査結果 遺構あり(古代・住居跡6)

対応 現状保存



No.71 八幡前・若宮遺跡 (19-59)

調査地番 的場482-3

調査面積 356m²

調査日時 令和6年2月28日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.72 笠丹草遺跡 (19-197)

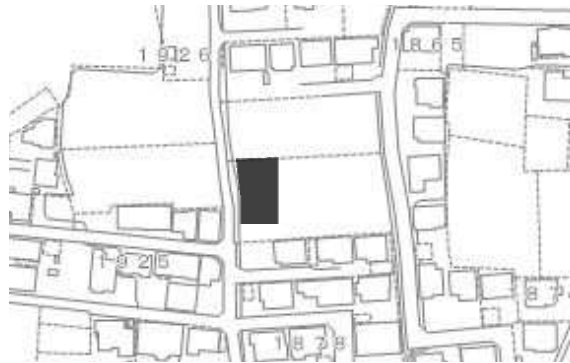
調査地番 笠幡 1870 - 2

調査面積 216㎡

調査日時 令和6年3月1日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.73 川越城跡 (19-89)

調査地番 郭町 1 丁目 2 - 19

調査面積 155㎡

調査日時 令和6年3月5日

調査原因 個人住宅・共同住宅

調査結果 遺構あり (中世～近世・堀)

対応 現状保存



No.74 川越城跡 (19-89)

調査地番 郭町 1 丁目 16 - 10

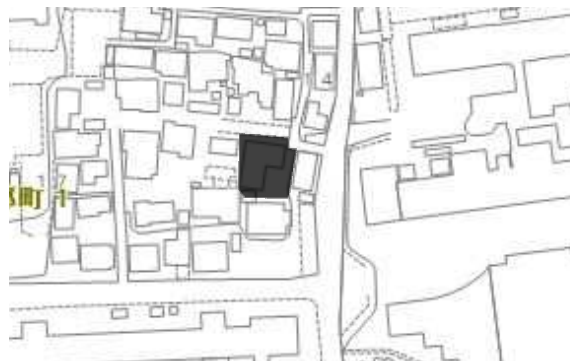
調査面積 286㎡

調査日時 令和6年3月8日

調査原因 ブロック塀

調査結果 遺構あり (近世・造成土)

対応 現状保存



No.75 西中原 1 号墳 (19-203)

調査地番 南大塚 1 丁目 5 - 3

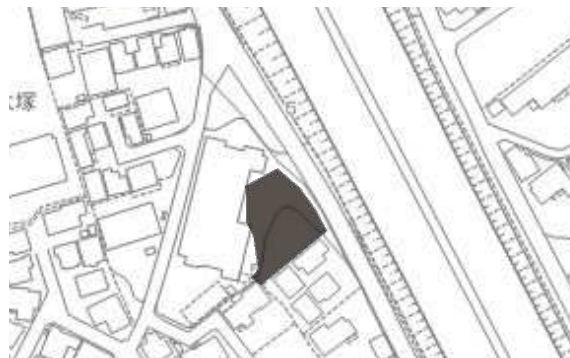
調査面積 620㎡

調査日時 令和6年3月19日

調査原因 宅地造成

調査結果 遺構あり (古墳・古墳周溝)

対応 西中原 1 号墳第 2 次調査



No.76 山王久保遺跡 (19-50)

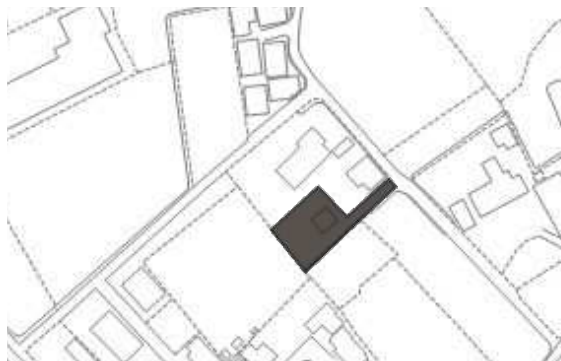
調査地番 上戸 72 - 1 の一部

調査面積 473㎡

調査日時 令和 6 年 3 月 21 日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



No.77 夜弊賀伎東遺跡 (19-26)

調査地番 小堤 351 - 1

調査面積 380㎡

調査日時 令和 6 年 3 月 28 日

調査原因 個人住宅

調査結果 遺構なし



13－3 教育委員会の発掘調査

(1) 東下川原遺跡第5次調査

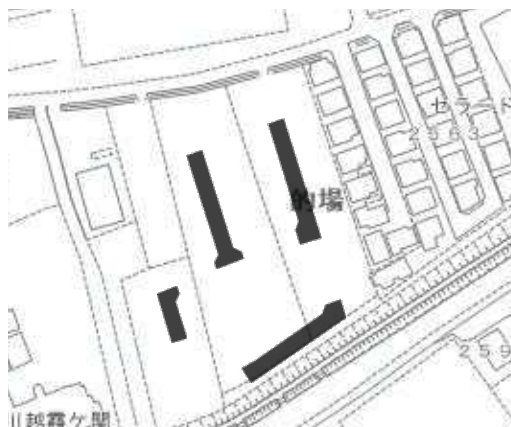
調査地番 川越市大字的場字神明 2568—4・5、
2569、2570—2、2581—2・3、
2582—1・11

調査期間 令和5年3月13日～令和5年7月3日

調査面積 702.8㎡

調査原因 道路

通知番号 教文発第941－1号
令和5年3月8日



東下川原遺跡は入間川北岸、入間川によって形成された沖積低地に立地する。周辺には牛塚古墳や国指定史跡河越館跡、霞ヶ関遺跡、八幡前・若宮遺跡がある。

これまで4次にわたる調査が東下川原遺跡で実施され、古墳時代後期から平安時代にかけての竪穴建物や中世の大溝が検出された。

今回の調査は令和4年度から5年度にまたがって実施し、その結果、古墳時代後期から古代にかけての竪穴建物10棟、溝9条、土坑（井戸を含む）18基、性格不明遺構2基、ピット多数が検出された。とくに古代については竪穴建物から瓦が複数出土しており、東下川原遺跡で営まれた集落の性格を考える上で示唆的なものと考えられる。



井戸の断面（東から）



切り合った竪穴建物（南から）



竪穴建物から出土した頸部を欠く長頸瓶



潰れた状態でカマドから出土した土器

(2) 川越城跡第 47 次調査

調査地番 川越市郭町一丁目 9 - 10

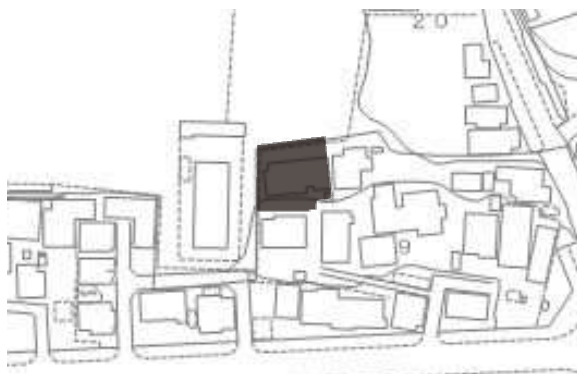
調査期間 令和 5 年 8 月 4 日

調査面積 22m²

調査原因 個人住宅兼事務所

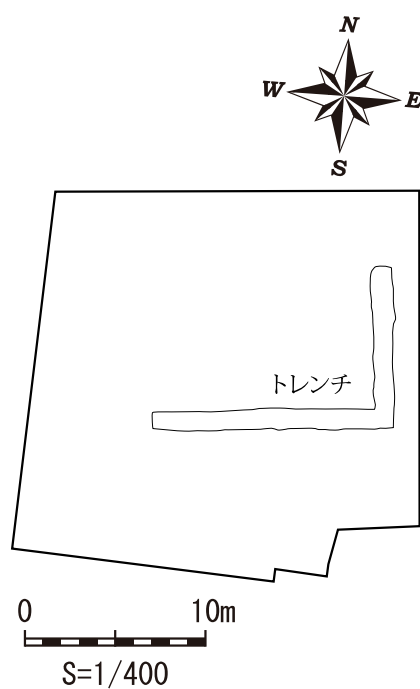
通知番号 教文発第 378 号

令和 5 年 7 月 31 日



川越城跡は武蔵野台地の最北端に立地する。慶応 3 年（1867）頃の川越城を描いたとされる絵図によると、当該地点は中曲輪内の屋敷地で、コの字に囲うように配置された土塁（枳形か）と堀があったとされる場所にあたる。

本調査では L 字のトレンチを 1 か所設定して調査を行った。その結果、西から東へ、そして南から北へと流れ込むように堆積した造成土が確認された。ただし、遺物は出土しなかったため、造成が行われた時期の推測はできなかった。



川越城跡第47次調査全体図



トレンチ掘削状況(南西から)



トレンチ断面(北西から)

(3) 川越城跡第 48 次調査

調査地番 川越市郭町二丁目 14 番 4,9,10,20
調査期間 令和 5 年 10 月 17 日～令和 5 年
10 月 23 日
調査面積 236㎡
調査原因 個人住宅
通知番号 川教文発第 622 号
令和 5 年 10 月 16 日



調査対象地は、慶応 3 年（1867）頃の川越城を描いたとされる絵図によると本丸南側の馬場及び土塁があったとされる場所にあたるが、調査の結果、絵図に描かれていない堀跡を確認した。この堀跡の法面は版築状につき固められている。

覆土は薄い土層が幾重にも積み重ねられた状態で堆積しており、周辺の中・近世の堀跡の覆土と比較検討すると、近世以前に埋め戻されたものを考えられる。



完掘状況（北東から）



完掘状況（北から）

(4) 新田屋敷遺跡第 15 次調査

調査地番・概要等は 10 頁の「5 河越館跡史跡整備事業」「5－6 河越館跡史跡整備に伴う発掘調査」参照。

14 伝統的建造物群保存地区保存整備事業

蔵造りと時の鐘に代表される町並みは川越のシンボルゾーンであり、かけがえのない文化遺産である。蔵造り町家以外にも各時代を代表する多様な建築様式の建造物が伝えられており、我が国の都市建築の発展をうかがわせる貴重な町並みである。

14－1 伝統的建造物群保存地区制度

「伝統的建造物群保存地区制度」とは、失われゆく歴史的な町並みを大切に後世に伝えていくための文化財制度で、昭和 50 年の文化財保護法の改正により創設されたものである。

「伝統的建造物群」とは、周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値が高いものをいい、またこれと一体をなして価値を形成している環境を保存するための地区を「伝統的建造物群保存地区」という。



伝統的建造物群保存地区で我が国にとって価値が特に高いものは、「重要伝統的建造物群保存地区」として文部科学大臣に選定される。

14－2 地区概要

- | | |
|--------------|---|
| 1. 種別 | 重要伝統的建造物群保存地区 |
| 2. 名称 | 川越市川越伝統的建造物群保存地区 |
| 3. 所在地 | 幸町の全部、元町 1 丁目、元町 2 丁目及び仲町の各一部 |
| 4. 面積 | 約 7.8ha |
| 5. 条例制定年月日 | 平成 10 年 6 月 23 日（条例第 19 号） |
| 6. 都市計画決定年月日 | 平成 11 年 4 月 9 日 |
| 7. 保存計画決定年月日 | 平成 11 年 4 月 9 日 |
| 8. 選定年月日 | 平成 11 年 12 月 1 日
（文部省告示第 197 号） |
| 9. 選定理由 | 重要伝統的建造物群保存地区選定基準「(1) 伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの」による。 |



■川越市川越伝統的建造物群保存地区の範囲

14－3 地区の特性

川越の伝統的な町並みは、間口が狭く奥行き長い敷地割のため、表は軒を連ねながらも奥には中庭を取り、採光や通風に対する工夫がみられるなど、商業地としての賑わいの演出と快適な住環境を両立させる知恵が活かされている。伝統的建造物群の基調をなす「蔵造り町家」は、明治26年の大火を契機として生まれたものである。まちの復興にあたり川越商人は、舟運により交流のあった江戸に多く建てられていた防火建築の土蔵造りを採用したと言われている。

町並みを構成する建造物としては、蔵造り町家群が最も特徴的であるが、真壁造り町家、大正昭和初期の洋風町家も分布する。また、町家以外の伝統的建造物には和風住宅、洋風住宅、並びに埼玉りそな銀行旧川越支店（旧第八十五銀行本店本館）等の近代洋風建築、寺社、時の鐘等の多様な建築様式の建造物が伝えられており、我が国の都市建築の発展をうかがわせる貴重な町並みである。

14－4 令和5年度の主な事業の概要

（1）保存事業

伝統的建造物の修理4件、応急修理3件、合計7件の保存事業に補助金を交付した。

（2）保存対策関連調査等

本宗稲荷神社の損傷調査及び傾倒調査を行った。

原家住宅の損傷調査及び傾倒調査、耐震調査を行い、修理方針を策定した。

（3）保存活動事業

川越町並み委員会が行う、伝建地区の保存活動事業に補助金150,000円を交付した。

14－5 現状変更行為件数

建築物	新築	増築	改築	移転	除却	修繕	模様替え	色彩変更	その他	小計
	1	2	1	0	2	17	2	0	1	26
工作物	新築	増築	改築	移転	除却	修繕	模様替え	色彩変更	その他	小計
	3	0	1	0	2	0	1	0	0	7
土地の形質の変更										1
木竹の伐採										0
土石の類の採取										0
その他（看板設置・修繕等）										13
合 計										47

（一つの申請で複数の行為内容を申請している場合があるため、許可件数としては32件。）

14－6 保存事業

(1) 保存事業補助金交付額

伝統的建造物の修理4件、応急修理3件、合計7件の保存事業に、補助金合計 27,297,000 円を交付した。

(2) 保存事業の内容

事業種別	対象物件		事業内容
修 理	①	山崎家住宅店蔵	著しく損傷した下屋の修理。
	②	小谷野家住宅店蔵	著しく損傷したショーウィンドウ及び南面外壁の修理。
	③	平岩・矢萩両家住宅主屋	著しく損傷した南側壁面及び屋根の修繕。
	④	宮岡家住宅店蔵	閉まらなくなった観音扉及び浮きが発生する等、著しく損傷した扉周辺の外壁の修理。
応急修理	⑤	染谷家住宅離れ建具	新たに発見された古写真を元にした木製建具の建設当初の形状への復原修理。
	⑥	岡家住宅明治蔵樋	老朽化により破損した銅製樋の修理。
	⑦	松崎家住宅主屋屋根	北側屋根において崩落した袖瓦及び風切丸瓦の補修。

修理事業

①山崎家住宅店蔵



修理前（損傷箇所）



修理後

②小谷野家住宅店蔵



修理前（損傷箇所）



修理後

③平岩・矢萩両家住宅主屋



修理前（損傷箇所）

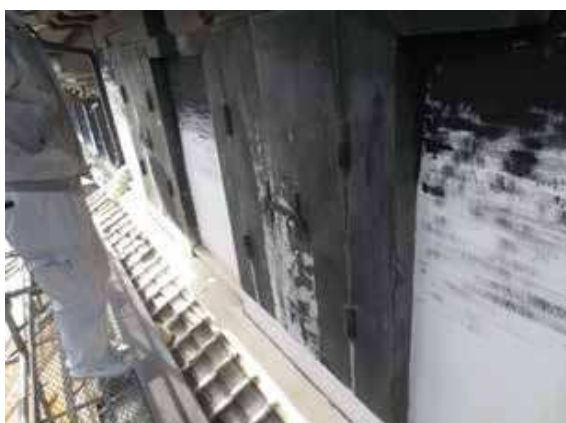


修理後

④宮岡家住宅店蔵



修理前（損傷箇所）



第1期工事完了後理後

14 - 7 保存活動事業

川越町並み委員会が行う伝建地区の保存活動事業に対して、150,000 円の補助金を交付した。

14－8 伝統的建造物の特定状況

令和5年度の追加特定はなし。

14－9 防火訓練支援

伝建地区とその周辺には、4箇年継続の特殊防災事業（平成14年度から平成17年度まで）により、防災設備（防災井戸1基、雨水利用防災井戸1基、簡易型屋外消火栓22基、埋設式簡易型屋外消火栓7基、防火水槽（40 t：1基／60 t：7基））が整備されている。

この防災設備を使用し、定期的に自治会等の主催による防災訓練を実施している。

第1回

1. 日 時 令和5年8月18日（金）18時30分～20時
2. 会 場 川越まつり会館視聴覚室・駐車場
3. 主 催 幸町自治会、元町1丁目町内会、元町2丁目自治会、仲町自治会、川越一番街商業協同組合、川越菓子屋横丁会、鐘つき堂商店会、元町一丁目商和会、川越町並み委員会
4. 参加者 20名
5. 内 容 ①川越北消防署による講話
②防災DVDの上映
③消火器（水消火器）操作訓練
④簡易型屋外消火栓操作訓練

第2回

1. 日 時 令和6年3月18日（月）18時30分～20時
2. 会 場 川越まつり会館視聴覚室・駐車場
3. 主 催 幸町自治会、元町1丁目町内会、元町2丁目自治会、仲町自治会、川越一番街商業協同組合、川越菓子屋横丁会、鐘つき堂商店会、はつかり商店街、川越町並み委員会、大正浪漫夢通り商店街振興組合
4. 参加者 34名
5. 内 容 ①起震車による地震疑似体験
②簡易型屋外消火栓操作訓練
③防災DVDの上映
④防災危機管理室による地震対策に関する講話



簡易型屋外消火栓の操作訓練



起震車による地震疑似体験

14－10 蔵造り資料館耐震化事業

蔵造り資料館は、明治26年（1893）の川越大火の直後に煙草商小山文蔵氏により再建された店蔵を中心に、店蔵に隣接した土蔵造りの添屋、背後に木造の住居棟のほか3棟の土蔵、外便所等により構成されている。

過去に、住居棟の半解体修理、二番蔵の構造補強をはじめ、外壁の修繕等が行われているが、経年による外壁等の劣化、雨水の流入による軸部の腐蝕、建物の不同沈下が進行している。

そのため、伝統的建造物の維持管理、また公開活用に資する建造物等の安全性の観点から、耐震化事業を実施中である。

令和5年度 蔵造り資料館店蔵耐震化工事

平成26年度の耐震診断調査、平成27年度の耐震化工事実施設計を受け、平成29年度より店蔵・添屋・住居棟・一番蔵の耐震化工事を開始した。平成30年度は店蔵・添屋の屋根解体、柱や桁の補修等を行ったが、工事請負業者が裁判所から民事再生手続廃止決定を受けたことに伴い工事請負契約解除に至り、平成30年10月に工事を中断した。工事再開に向け、令和元年度に修理内容等検討業務委託を行い、工事途中の建物を解体・調査し、その結果を基に建物を健全化した上で、より効果的な耐震化を図るという方針に改め、令和2年度に蔵造り資料館店蔵等解体格納工事を実施した。令和3年度は解体調査結果に基づき、耐震化工事内容等を検討した結果、店蔵を先行して復原及び耐震化することとなった。令和4年度に店蔵耐震化工事の実施設計を行い、令和5年度に着工した。工期は令和5年度から令和8年度まで。



柱の加工



店蔵外観（木工事完了）



店蔵1階（木工事完了）



店蔵2階（木工事完了）

15 普及・啓発事業

15－1 職員の派遣

令和5年度は25件の依頼を受けて職員を派遣した。

	実施日	講義内容	講義場所	依頼元	参加人数	派遣職員
1	5月17日	名細の史跡・文化財	名細市民センター	名細地区民生委員児童委員協議会	43	轟
2	5月26日	弥生時代	富士見市立中央図書館	入間東部地区文化財保護連絡協議会	22	轟
3	6月4日	埋蔵文化財について	川越市立博物館他	日本女子大学	16	高木・藤田
4	6月17日	川越市の文化財	ウェスタ川越	埼玉県退職公務員連盟	20	田中
5	7月13日	山王塚古墳	川越市南公民館	川越学舎	20	藤田
6	9月22日	近世の川越城と川越藩	嵐山史跡の博物館	嵐山史跡の博物館	270	宮原
7	9月28日	川越の織物	川越市南公民館	ふるさと塾	45	石田
8	10月11日	川越まつりにチャレンジ	川越小学校	川越小学校	101	石田
9	10月31日	古尾谷庄と古尾谷氏	川越市古谷公民館	川越市古谷公民館	30	井口
10	11月12日	史跡整備について	川越市立博物館他	日本女子大学	15	藤田・高木
11	11月16日	時の鐘について	時の鐘	川越小学校	5	天ヶ嶋
12	11月21日	山王塚古墳について	川越市霞ヶ関北公民館	川越市霞ヶ関北公民館	19	天ヶ嶋
13	13月20日	山王塚古墳について	川越市大東公民館	川越市大東公民館	25	藤田
14	12月1日	伊能忠敬について	川越市伊勢原公民館	川越市伊勢原公民館	40	宮原
15	12月14日	山王塚古墳について	川越市大東南公民館	川越市大東南公民館	65	藤田
16	12月14日	川越の民俗文化財	川越市南公民館	川越市南公民館	50	石田
17	12月20日	川越の建物	川越市芳野公民館	川越市芳野公民館	20	天ヶ嶋
18	1月10日	山王塚古墳について	川越市北公民館	川越市北公民館	60	高木
19	2月6日	中世後期の河越館跡	川越市霞ヶ関北公民館	川越市霞ヶ関北公民館	25	井口
20	2月6日	時の鐘について	川越市北公民館	川越市北公民館	33	天ヶ嶋
21	2月18日	縄文時代	川越市立中央図書館	川越市立博物館	100	高木
22	2月25日	弥生時代から古墳時代	川越市立博物館	川越市立博物館	100	轟
23	3月1日	山王塚古墳について	川越市霞ヶ関西公民館	川越市霞ヶ関西公民館	22	天ヶ嶋
24	3月11日	山王塚古墳（現地案内）	山王塚古墳	武蔵府中熊野神社古墳保存会	10	藤田
25	3月22日	近代の「小江戸」	川越市南公民館	川越・比企ツーリズムの会	10	宮原

15 - 2 刊行物

パンフレット及び書籍を発行し、文化財の保護普及の一助としている。

パンフレット

国指定史跡 山王塚古墳	川越建物細見
国指定史跡河越館跡	川越市指定文化財時の鐘
川越の祭りと芸能	国指定史跡河越館跡史跡公園
川越城中ノ門堀跡	川越氷川祭の山車行事（日本語ほか9か国語）
市指定史跡永島家住宅（旧武家屋敷）	

書籍・地図（有償頒布）

川越市の文化財	川越の民俗調査報告書第1集 福原・南古谷地区の民俗
ハンドブック 川越の歴史	川越の民俗調査報告書第2集 山田地区の民俗
続川越の伝説	川越市指定文化財 旧山崎家別邸調査報告書
川越の人物誌 第1集	元町二丁目井上家文書目録
川越の人物誌 第2集	川越市山田地区民具調査報告書 鹿倉家の民具
川越の人物誌 第3集 女性編	川越の寺院建築
川越氷川祭りの山車行事調査報告書	時の鐘耐震化工事報告書
川越市文化財散策マップ	



「川越市の文化財」第7版 令和5年3月31日発刊

15－3 防火訓練

実施日時	令和6年1月26日（金）
会場	喜多院・東照宮・日枝神社
共催	川越市教育委員会・川越地区消防組合 喜多院・東照宮・日枝神社
内容	通報、消火、重要物件搬出、避難などの総合訓練 貯水槽、消火器などの点検・整備及び試験運用
動員数	参加人員 102 名 出動消防車両 9 台（はしご車 1 台、化学車 1 台ほか） 見学者数 約 100 名

概 要

昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が火災によって焼損したことから、昭和30年に1月26日が「文化財防火デー」と定められ、消防庁と共同で貴重な文化財を火災から守るための取り組みを行っている。

本市では、昭和34年に喜多院客殿・書院に防災設備が設置されたのを契機に文化財防火訓練が開始され、毎年同時期に開催している。喜多院周辺は、重要文化財建造物3件13棟を始め、川越市内でも最も多くの文化財が集中している地域である。また、各文化財の防火設備等も整備されており、防火訓練を行なうには最適といえる。



喜多院



喜多院



東照宮



日枝神社

15－4 遺跡発表会 2023

1. 日 時 令和6年2月3日(土)
午後1時30分～午後3時30分
2. 会 場 川越市立中央図書館 視聴覚ホール
3. 対 象 一般
4. 参加人数 41名
5. 発表内容
 - ①山王脇遺跡 第14・15次調査 藤田 健一
 - ②弁天西遺跡 第21次調査 轟 直行
 - ③藤原町遺跡 第3次調査 高木 麻里帆
 - ④出土遺物見学

概 要

毎年川越市で実施している発掘調査の成果について、いち早く市民に公開することを目的とする活用事業である。今回は令和4年度に実施した発掘調査の内、①山王脇遺跡 第14・15次調査、②弁天西遺跡 第21次調査、③藤原町遺跡 第3次調査の成果を報告した。

口頭発表終了後、各遺跡出土の遺物を別室で展示し、解説を行った。



発表風景



展示風景

15－5 山王塚古墳現地見学会

- | | |
|---------|--|
| 1. 日 時 | 令和5年7月21日（金）、22日（土）
両日共に午前10時～午前11時 |
| 2. 会 場 | 国指定史跡山王塚古墳 川越市大塚1丁目他 |
| 3. 対 象 | 一般 |
| 4. 参加人数 | 202名（21日：97名、22日：105名） |

概 要

令和5年3月20日に国史跡となった山王塚古墳の歴史的価値を広めるため市民を対象に見学会を実施した。

見学会では、職員が答申の出されるに至った経緯を説明した後に、国の文化審議会が評価した歴史的学術的な価値、山王塚古墳の見どころについて現地を巡りながら解説した。また、調査時の写真パネル展示や石室の形をロープで現地に示したほか、出土した石室石材を展示し遠方の石材産地について説明するなど、わかりやすい解説に努めた。



見学会の様子

16 川越市の文化財数

令和5年度は、市指定文化財加藤家住宅が8月23日付けで指定解除となった。

令和6年3月31日現在

国指定等文化財			県指定文化財			市指定文化財			合計
種別		件数	種別		件数	種別		件数	
重要文化財	建造物	5	有形文化財	建造物	9	有形文化財	建造物	50	64
	絵画	2		絵画	2		絵画	1	5
				彫刻	2		彫刻	12	14
	工芸品	3		工芸品	5		工芸品	18	26
	書籍・典籍・古文書	1		書籍・典籍・古文書	7		書籍・典籍・古文書	28	36
				考古資料	1		考古資料	6	7
				歴史資料	1		歴史資料	6	7
民俗文化財			民俗文化財	有形民俗文化財	1	民俗文化財	有形民俗文化財	20	21
	重要無形民俗文化財	1		無形民俗文化財	6		無形民俗文化財	12	19
記念物	史跡	2	記念物	史跡	3	記念物	史跡	31	36
				天然記念物	1		天然記念物	8	9
				旧跡	4				4
国指定文化財計		14		県合計	42		市合計	192	248
重要伝統的建造物群保存地区		1							
重要美術品		2							
登録有形文化財		12							
登録記念物		1							
国合計		30							
合 計			264 件						

川越市文化財保護年報

令和 5 年度

令和 7 年 2 月 28 日

発 行 川越市教育委員会文化財保護課
〒 350 - 8601
川越市元町 1 丁目 3 番地 1
TEL 049 - 224 - 6097 (直通)

印 刷 株式会社 広真